

両大会開催までのあゆみ

平成19年
1月17日

第70回国民体育大会招致の決議(1月臨時県議会)



記者会見をする仁坂知事

平成19年
3月14日

(財)日本体育協会理事会で承認(内々定)

平成22年
5月18日

大会愛称が「紀の国わかやま国体」に決定

平成22年
7月7日

和歌山県での開催が内定

平成22年
9月18日

紀の国わかやま国体スタートアップイベント



内定を記念して開催した
「きのくにスポーツフェスティバル」
＝和歌山ビッグホエール

平成23年
6月8日

マスコットのデザインを発表

平成23年
11月1日

マスコットの愛称が
「きいちゃん」に決定



PRキャラバン隊長として
県内各地でPRをスタート



平成24年
6月15日

イメージソング「明日へと」を発表



作詞・作曲・ウインズ平阪さん(右)、
歌唱者・宮本 恵梨菜さん(左)

平成24年
7月11日

国体開催が正式決定



日本体育協会の会長(右)から
開催決定書を受け取る仁坂知事＝東京

平成24年
9月9日

開催決定記念イベント



国体・大会ダンス
「きいちゃんダンス」を初披露
＝和歌山ビッグホエール

平成25年
4月9日

〆紀の国わかやま国体開催900日前、



和歌山県庁正面玄関前に
カウントダウンボードを設置

平成25年
4月27日

リニューアルした紀三井寺公園陸上競技場のオープニングセレモニー



テープカットする関係者

平成26年
2月9日

PR拠点「きいちゃんステーション」オープン
チーム和歌山応援団結成



きいちゃんグッズが各種並んだ店頭



チーム和歌山応援団長を委嘱

平成26年
5月17日～

軟式野球を皮切りに県内各地でリハーサル大会がスタート



平成26年
5月30日

大会の「選手団サポートボランティア」の養成講座がスタート



平成26年
9月19日

公式ポスターの
デザイン決定



平成26年
9月23日

開催1年前イベント「長崎国体・大会出場県選手団結団壮行式」



平成26年
11～12月

きいちゃんダンス
コンテストを開催



和歌山市・橋本市・田辺市の
3会場で開催

年 月 日	内 容
平24.7.23	第70回国民体育大会和歌山県準備委員会第6回総会、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会第1回総会を開催
平24.9.9	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会「開催決定記念イベント」を開催
平25.6.10	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会第2回総会を開催
平25.9.3	運営ボランティア、情報支援ボランティアの募集開始
平25.11.1	紀の国わかやま国体馬術競技事務所の開設(兵庫県三木市)
平26.2.9	きいちゃんステーション(オフィシャルショップ)のオープン(和歌山市、田辺市) チーム和歌山応援団の結成
平26.4.1	紀の国わかやま国体水泳(飛込・シンクロ)競技事務所の開設(大阪府門真市) 紀の国わかやま国体ボート競技事務所の開設(滋賀県大津市)
平26.5.1	紀の国わかやま国体クレー射撃競技事務所の開設(神奈川県伊勢原市)
平26.5.17	紀の国わかやま国体競技別リハーサル大会の実施(～平27.6.21)
平26.6.4	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会第3回総会を開催
平26.9.5	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実施本部の設置
平26.9.19	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の公式ポスターを発表
平26.9.23	開催1年前イベント「長崎国体・大会出場和歌山県選手団結団壮行式」を開催
平26.11～12	きいちゃんダンスコンテストを開催(和歌山市・橋本市・田辺市)
平27.1.30	炬火トーチ・炬火受皿デザインの決定
平27.2.16	国体開催222日前・大会開催250日前「県内一斉啓発活動」を実施
平27.4～8	炬火イベントを開催
平27.4.1	文化プログラム事業の実施(～平27.10.27) 紀の国わかやま国体合同配宿本部(配宿センター)の設置
平27.5.31	東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」デモンストレーションスポーツを開催(～平27.10.4)
平27.6.1	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会第4回総会を開催 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会成功に向けた決起集会を開催
平27.6.7	紀の国わかやま大会リハーサルを開催
平27.6.18	国体開催100日前「県内一斉啓発活動」を実施

年 月 日	内 容
平27.7.16	大会開催100日前「県内一斉啓発活動」を実施
平27.8.7	国体開催50日前「黒潮国体タイムカプセル内覧会」を開催
平27.8.29	紀の国わかやま国体総合開閉会式総合リハーサル(1回目)を実施
平27.8.30	紀の国わかやま大会開閉会式総合リハーサル(1回目)を実施 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山県選手団結団壮行式を開催
平27.9.5 ～10.27	文化プログラム「わかやまスポーツミュージアム(和歌山市)」を開催
平27.9.6 ～9.17	東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」水泳(飛込・シンクロ)競技会、体操競技会、セーリング競技会を開催(会期前開催3競技)
平27.9.19	紀の国わかやま国体総合開閉会式総合リハーサル(2回目)を実施
平27.9.26 ～10.6	東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」総合開会式を開催 東日本大震災復興支援第70回国民体育大会役員懇談会を開催 東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」競技会を開催
平27.10.6	東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」総合閉会式を開催
平27.10.10	紀の国わかやま大会開閉会式総合リハーサル(2回目)を実施
平27.10.23	紀の国わかやま大会和歌山県選手団激励会を開催
平27.10.24 ～10.26	東日本大震災復興支援第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」開会式を開催 東日本大震災復興支援第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」競技会を開催
平27.10.26	東日本大震災復興支援第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」閉会式を開催
平27.12.3	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会「感謝の集い」を開催

所感集

紀の国わかやま国体を終えて



国体総合開閉式旗手
ホッケー 成年男子 **坂本 博紀**

地元国体の総合開閉式で、県選手団の旗手という大役が私に務まるのかと最初は不安でしたが、入場した時の皆さまの大声援が力となり堂々と行進できました。
ホッケー競技成年男子においても、永年にわたる強化が実を結び、25年ぶり6回目となる優勝を果たすことができました。プレッシャーの中での優勝だったので、まずはホッとしたというのが本心です。また、競技別総合優勝もでき、4種別が大活躍した一生忘れることのない大会になりました。
これもお世話になった方々、関係者、スタッフ、また会場で大声援を送ってくれた県民の皆さまのおかげだと思います。これからは、この国体で経験した事を生かし、和歌山県のスポーツ振興のために頑張ります。ありがとうございました。

自分らしく堂々と力強く



国体総合開閉式選手代表宣誓者
カヌー 成年男子 **阪本 直也**

私は、2015紀の国わかやま国体の総合開閉式で、選手宣誓をさせて頂きました。地元開催ということもあり、たくさんの方々からの注目を浴びてとても緊張しましたが、自分らしく堂々と力強く宣誓できました。
競技については、カヌー競技カナディアンシングル500m、200mに出場し、共に優勝することができました。今回のこの優勝は、和歌山で国体が開催されると決まった時から絶対にすると決めていた上に、地元の方々が応援して下さいている目の前で成し遂げることができたので、喜びもより一層大きなものとなりました。
また、男女総合優勝も飾ることができ、私自身これ以上ないくらいの大会となりました。これも何年も前から準備し、サポート、運営してくださった方々のおかげです。ありがとうございました。最高の大会でした。

選手宣誓に気持ちを込めて



国体総合開閉式選手代表宣誓者
フェンシング 成年女子 **西岡 詩穂**

今回、選手宣誓のお話を頂いた時、緊張や不安よりも嬉しさや感動でいっぱいになりました。
自分が選手として現役にいる間に国体が地元で開催され、さらにその選手宣誓という大役を任せられる事はとても光栄な事です。
日本代表として日の丸を背負う時はまた違う、和歌山県の代表として県を背負う責任を感じました。
リハーサルで実際に選手宣誓台に立った時、なんて大きな役を引き受けたんだろうと、少し不安になりましたが、本番では天皇陛下やたくさんの人の前で気持ちを込めて選手宣誓することが出来ました。
今回関わってくださった全ての人に感謝し、そして感謝の気持ちをこれからも忘れずに競技者として戦いたいと思います。

一生忘れることのない最高の景色

国体総合開閉式炬火最終点火者
セーリング 少年男子 **中野 翔太**



この経験は一生の財産になりました。初めて炬火ランナーに選出されたとき、イメージが全くわきませんでした。実感がないまま練習に参加すると、国体の総合開閉式のセットで練習が始まったため、最終走者で炬火台に点火をする大役であることを認識しました。責任を感じることはもちろんですが、プレッシャーや期待感やわくわくする気持ちが同時に起こり、興奮したことを覚えています。
そして本番、練習では上手くいったとはいえ、やはり直前になると緊張しました。しかし、いざ走ってみると頭の中が無になり、音楽だけが流れ、すがすがしい気分でした。全てが終わると、「やってよかった」という気持ちや、頑張ってやり通せた達成感で一杯になりました。
炬火台の上から見た景色は一生忘れることのない最高の景色として心の中に刻まれました。ご指導いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。この経験を糧に大きく羽ばたいていきたいと思っています。

手にした天皇杯に感動



国体天皇杯受領者
レスリング 少年男子 **吉田 隆起**

レスリング競技において、昨年の長崎国体で優勝した私にとって、地元和歌山で開催される国体では確実に優勝を目指すしかありませんでした。たくさんの方の期待を背負い、良い緊張感のなか、自分のピークをうまく国体に合わせ、最高の内容で二連覇を達成することができ、ほっとしています。
総合開閉式では、天皇杯受領者という大役に抜擢して頂き大変光栄に思うと同時に、これまで多くの方々に支えられ、応援して頂いたことを実感する機会となり、感動の気持ちでいっぱいになりました。
私にとって、全てが最高で終わった地元開催の国体でしたが、この結果に満足せず、次は2020年の東京オリンピックに自分のレスリング人生のピークで挑めるよう準備していきたいと思っています。そして、必ず和歌山にオリンピックの金メダルを持ち帰ります。

「男女総合優勝」 ～躍動と歓喜、そして絆～

国体男女総合優勝表彰状受領者
剣道 成年男子 **横尾 英治**



大会会長から頂いた男女総合優勝の賞状には、これまで厳しい練習や試合に取り組んできた選手をはじめ、指導者の方々、共に汗を流してくれた仲間、ご支援、ご声援いただいた多くの県民の皆様への思いが込められており、賞状を手にしたときの感激は生涯忘れることはないでしょう。
この国体では、すべての競技団体が総合優勝を目指し、励まし合いながら切磋琢磨したことで、チーム和歌山の絆も一層高まり、総合優勝へつながったと思います。
国体・大会のスローガンである「躍動と歓喜、そして絆」をまさに実感した瞬間でした。
私が出場した剣道競技では、選手一人ひとりが今までの練習の成果を思う存分発揮し、成年男女で優勝、少年男女で準優勝という素晴らしい成果を上げることができました。
開催地である那智勝浦町には全面的なサポートをいただき、また、ご声援いただきました多くの皆様に深く感謝申し上げます。
和歌山のスポーツは、国体が終わったこの時が、スポーツ王国和歌山の新たなスタートの時でもあります。チーム和歌山の絆、新たな躍動と歓喜を求めて、来年の2016いわて国体へ向けて頑張っていきたいと思います。



感謝の気持ちを大切に

国体女子総合2位表彰状受領者
なぎなた 成年女子 **山本 千代**

21回目の出場となる「紀の国わかやま国体」は、一生に一度の貴重な経験となりました。今まで出場してきた国体の中で一番良い結果で和歌山県に貢献したい、そして、たくさんの方々に恩返しをしたいという思いで臨んだ地元国体。私は、たくさんの方々の支えと応援のおかげで、なぎなた競技総合優勝2連覇を達成することができました。

総閉会式では、女子総合2位の表彰状授与の大役をさせていただき、人生で大きな宝物をいただいた思いがします。本当に心から感謝しています。最高の舞台上に立たせていただいた選手として、さらに成長できるような日々精進していきたいと思います。そして、「なぎなた」を通して、たくさんのことを学び、たくさんの人とつながりができたことをこれからの人生に生かしていきたいと思います。和歌山県民の皆様方、今大会を支え応援して下さいの皆様方、本当にありがとうございました。



2大会連続の旗手 堂々と行進

大会開会式旗手
陸上競技 **宮崎 郁矢**

紀の国わかやま大会では陸上競技の代表選手として選ばれ、選手団の代表として旗手もさせていただきました。昨年の長崎大会でも旗手をさせていただき、そのときはとても緊張しましたが、今回は2回目ということもあってそれほど緊張することなく、堂々と行進することができました。陸上競技では砲丸投げとジャベリックスローに出場しました。開会式が終わって競技が始まるとすぐに砲丸投げが始まりました。2種目ともメダルを獲りたいと思っていましたが、砲丸投げでは4位に終わりとても悔しかったです。その後のジャベリックスローでは金メダルを獲ることができて、とてもうれしかったです。来年の岩手大会にも出場して2種目メダルを目指したいと思っています。



貴重な経験 紀の国わかやま大会

大会開会式選手代表宣誓者
陸上競技 **山本 昂城**

全国障害者スポーツ大会が、地元和歌山で開催が決まり、選手宣誓に選ばれたときうまく言うことができるのかと、不安な気持ちと今までにない緊張をしました。僕は、陸上競技に出場するのでその練習と両立しなければいけないので大変でした。学校や家などで練習をして、周りの人にアドバイスをもらい上達することができました。

開会式当日、とうとうこの日がやってきたと思いました。頑張って和歌山県選手代表として落ち着いて気持ちを込めて言えました。陸上競技の方も二種目とも金メダルを取ることができました。

紀の国わかやま大会を通じて、全国の仲間と交流ができ、また、たくさんの人に応援してもらい、感謝の気持ちと、絆という貴重な経験をすることができました。



2015紀の国わかやま大会に参加して

大会開会式選手代表宣誓者
アーチェリー **谷口 ゆかり**

10/24から10/26に行われた紀の国わかやま大会に参加させていただきありがとうございました。私にとって、はじめての大会参加でした。地元開催ということで、家族や友人、職場のみなさんにも応援していただきより一層、励ましになりました。そして、和歌山県選手団を代表して選手宣誓する機会をいただき、今まで私を支えてくれた周りの方にむけて、感謝の気持ちを宣誓しました。TV放送を観てくださった方から『感動した!』『緊張が伝わってきた。でもすごくよかったよ。』など言葉をいただき、周りの反響はスゴかった!また、アーチェリー協会のみなさんから、アーチェリーを知ってもらえた。と喜んで頂けた。率直に大会の影響力はすごいと感じた。私がプレイすることでアーチェリーに興味をもってもらい、アーチェリーをやりたいと思う人が増えればいいと思う。アーチェリーは障害のあるなしにかかわらず、できるスポーツです。一緒にやりましょう!



感動がつまった炬火を引き継ぎ、つないで感じたこと

国体・大会式炬火走者
陸上競技 **生馬 知季**

私は、紀の国わかやま国体で炬火の引き継ぎを、紀の国わかやま大会で炬火の第一走者を務めさせていただきました。地元和歌山県の大会にて、二つの大役を任せて頂いたことは、私にとって大きな誇りです。緊張もありましたが、「国体での感動、歓喜、悔しさ全てがつまった炬火を立派に引き継ぎ、つなごう!」そんな思いで走りました。客席の方々の声援を受けながら走者を務め終えた時は、私自身感動と感謝の気持ちでいっぱいになり、後日出場した競技への大きな活力となりました。私は車いすの陸上競技で二種目に出場しました。両種目ともに優勝することができ、大会新記録を残すことができました。本番に向け苦しい練習を積んでまいりましたが、その中で頑張れたのは、周囲の方々の励ましや支えがあったからです。その感謝の気持ちをレースの結果で示すことができたことを嬉しく思います。最後に、今大会にて経験できたことの全ては、私にとって生涯忘れない思い出であり財産です。感謝の気持ちを忘れず、これからの競技人生に活かし、頑張ります。本当にありがとうございました。



一生の思い出 紀の国わかやま大会

大会開会式炬火最終点火者
陸上競技 **中屋 武留**

僕は今年の和歌山大会に出場するのがとても楽しみでした。炬火ランナーの最終点火者に選ばれた時はあまり実感が湧かなかったけれど、当日の点火前はとても緊張しました。大勢の人の前で炬火台に点火し、その隣に立つと、燃え上がった炎がリハーサルの時よりも熱く、炬火台から見た景色や観客席から響く拍手にとっても誇らしく思いました。

陸上競技では、共に過ごしてきた仲間と支えてくださったコーチやボランティアの方々、そして家族の応援のおかげで、自信を持って大会に挑み、メダルを2つ獲得することができました。今後も陸上競技を頑張りに続けて、金メダルをいっぱい取りたいです。そして壮年の部になっても出場できるように走りつづけます。



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に参加させていただいて

国体総合開会式・大会開会式オープニングプログラム出演者、式典前演技・歓迎演技 船パフォーマー
NPO紀州お祭りプロジェクト「おどるんや〜紀州よさこい祭り〜」踊り子 **額田智香子**

今回、私たちはNPO紀州お祭りプロジェクトとして、国体・大会のオープニングプログラムでよさこい踊りの演舞をさせていただきました。和歌山県内においても、2004年から「おどるんや〜紀州よさこい祭り〜」(和歌山市)が開催され、今や各地のよさこい祭りやイベントで、多くのお客様に「よさこい踊り」を楽しんでいただいております。今回、一生に一度となり得る国体・大会に参加できたことは、私たち踊り子にとって心に残る大きな思い出となりました。練習では隊列等がなかなかうまくいかず心配をしていましたが、本番では見事に踊り子たちの鳴子の音が響き合い、沢山の応援(ワフ)が和歌山の青空に泳いでいました。また、大会では支援学校・ろう学校の生徒さんとともによさこい演舞をさせていただきました。生徒さんが笑顔で踊る姿に私たちも感動し、いつもよりも元気に演舞をすることができました。本当に素晴らしい時間・経験・感動をありがとうございました。



和歌山県民としての、誇りをもって

式典前演技・歓迎演技 雲パフォーマー
平瀬・和歌山バレエアートスタジオ **三崎 彰子**

紀の国わかやま国体の式典前演技・紀の国わかやま大会の歓迎演技に「雲の精」のパフォーマーとして参加させていただき、大変光栄に思います。
天皇皇后両陛下・皇太子殿下を前に演技させていただいた事は私の一生の思い出となることでしょう。

また、私は生徒の方々とともに参加させていただいたので、生徒の方々とこの絆も深まり心に残る大会になりました。
本番では普段味わった事のない緊張感と感動、達成感を全身で感じる事が出来ました。
今大会の関係者の方々、応援してくださいましたの方々、これまで私達を支えてくださった多くのの方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからも精進していきたいと思ひます。ありがとうございました。



式典前演技・歓迎演技に参加して

式典前演技・歓迎演技 森の精
ミュージカルグループ wanna be STARS **安井真梨乃**

私は、式典前演技・歓迎演技で森の精を演じました。出演が決まった時は、どんなダンスだろうとワクワクしました。しかし、競技場での練習が始まった時は、大変だと、少し不安になりました。それは、すごくたくさんの方が出演していたのと、場所が広すぎたからです。でも、何回も練習に参加するうち、自分たち以外の海や心のみちの演技を見て、全部で一つの物語になった、すてきなプログラムなんだとわかっていきました。小さな一人一人の力は、大きなパワーとエネルギーを生むんだと知りました。

本番では、和歌山の豊かな自然を表現できたと思います。そして、みんなが笑顔でひとつになれた気がして、達成感でいっぱいになりました。後で、演技を見てくれた人たちからも「感動したよ」と言ってもらえ、とても嬉しかったです。国体が今度和歌山にやって来る時も、ぜひ何かの形で参加したいと思ひました。

絆に感謝

「躍動と歓喜、そして絆」44年ぶりに和歌山で開催された国体・大会のスローガンは、今改めて私の心に響いています。

私のチームは、紀の国わかやま国体の式典前演技と紀の国わかやま大会の歓迎演技に参加させていただきました。チーム全員で取り組む事、他チームの方々と一つ一つのものを作り上げていく事は思った以上に大変でした。本番では全員が一つとなり、テーマに沿った演技が表現できたと思っています。

その成功には、演出の先生方、成功させる会のスタッフの方々、それにチームの皆を送り出してくれた家族の協力があり、そのすべてが絆となり、無事に演技ができ笑顔と歓喜に包まれた感動的な時を刻めたと実感しています。出演した私達だけでなく、家族やお手伝いの方々と共に感動を共有できた貴重な体験でした。本当にありがとうございました。



式典前演技・歓迎演技 海(しづき)パフォーマー
和歌山パストン **今中ゆり子**

最高の笑顔で演技

国体総合開会式エンディングプログラム出演者、式典前演技・歓迎演技 心パフォーマー
Sundy's わかやま Cheerleaders 代表 **北山 桃子**



私自身和歌山出身ではありますが、長く地元を離れており、2年前からまた和歌山市に拠点を移して、チアダンスチームを立ち上げたばかりです。
そんな中、今年の初めに事務局の方からご連絡いただき、Sundy'sのメンバー皆で、式典前演技と歓迎演技、そして国体総合開会式のエンディングでチアダンスを披露させていただけることになりました。
ダンス経験の浅い生徒も沢山いましたので、このような大舞台は一生に一度あるかないかだと、本当に貴重で光栄なことなのだという事を、日頃のレッスンから皆に伝えながら練習して参りました。
そして、サポートして下さった皆様のお陰で、本番はみんな最高の笑顔で演技を披露できたかと思います。
選手の皆様や、県内外からお越し頂いていた方々に、勇気と笑顔が届いていますように。
私もSundy'sメンバーも、この経験を糧にこれからも和歌山から元気を発信していきます！



自然が一杯、思い出一杯、和歌山国体

式典前演技・歓迎演技 心パフォーマー
GLITTER **岩本 佳苗**

私達が参加させていただいた、紀の国わかやま国体式典前演技は、忘れられない一生の思い出となりました。国体開催までの約半年間、朝早くから日が暮れるまで、一生懸命練習に励みました。暑く厳しい日差しの中での練習は本当に辛く投げ出したくなる時もありました。
開会式の当日、天皇皇后両陛下のおられる観客席は、選手、観客の方々で溢れていました。今までに見たことがないその光景に圧倒されたと同時に、こんな素晴らしい舞台でダンスを披露できることをとても光栄に思いました。
国体までの道のりは長く、決して楽なものではありませんでしたが、指導して下さった先生方、他のダンスチームの皆様、国体関係者の方々が力を合わせて作り上げた最高の作品を、多くの方に見ていただき歓声を頂けたことが、私は本当に嬉しいです。



お母さんと親子でさんか

式典前演技・歓迎演技 笑顔の傘の子供達
PUPPET CLUB **波多野いよ和**

わたしは、紀の国わかやま国体と紀の国わかやま大会にさんかしました。

かい会しきで「かさの子どもたち」をおどりました。

わたしは、はじめのれんしゅうで紀三井寺きょうぎ場でおどった時、しっぱいしたのでくやしかったです。

本番の時、大人の人たちがおどっているのを見て、次は自分の出番だと思って、心ぞうがとびでそうなくらいどきどきしました。

でも本番はみんなといっしょに元気におどれたのでとても楽しかったです。

おどり終わったあとパーンと音がして花火みたいにてープがとんだ時はびっくりしました。

れんしゅうは少し大へんでしたが、さんかしてよかったです。

わたしのお母さんも「心のパフォーマー 華岡青洲」をおどりました。

親子でさんかできてとてもいい思い出になりました。



満員の会場に大興奮

式典前演技 音楽パフォーマー
和歌山大学混声合唱団 団長 **上田 健介**

「明日へと」を歌い終わり、国体の総合開会式が終わった瞬間、会場が歓喜に包まれ、胸が熱くなったことを今でも覚えています。はじめに音楽パフォーマーへの参加の話をいただいたときは、何がなんだか想像がつかませんでした。しかし、本番までに練習を重ね、迎えた当日。開会式が始まるころには、会場中が人で埋めつくされており、その雰囲気刺激され、「歌って盛り上げるぞ!」という気持ちになりました。

44年ぶりに地元和歌山県で開催された国体「紀の国わかやま国体」という大きな舞台で、音楽パフォーマーとして歌うことができてとても感謝しています。また、歌をとおして会場中の方々と興奮を分かち合えたことに喜びを感じました。この貴重な経験を活かし、今後の成長へとつながっていきます。本当にありがとうございました。

国体の演奏を通して得たもの

式典前演技 音楽パフォーマー
和歌山県立桐蔭高等学校 2 年生 吹奏楽部 **前野 光帆**

色とりどりのきいちゃんポロシャツを着た音楽パフォーマーは、県内の高校・中学校の吹奏楽部や地域の吹奏楽団37団体総勢480名からなる大吹奏楽団。総合開会式で合唱隊の皆さんと「歓喜の歌」を、また、ウインズ平阪さんの歌に合わせて国体イメージソング「明日へと」を演奏しました。

自分自身、こんなに多くの人数で演奏することは初めての経験で、本番が近づくにつれ、演奏するのが楽しみで胸が高鳴りました。4ヶ月以上前から合同練習を重ねてきた甲斐もあってか、本番では皆、心をひとつにして、希望と夢を音にのせ、華やかな演奏ができました。この経験はこれからの私たちの部活動のためにも大切な糧となったと思います。

そして、今回の演奏を通して本当にたくさんの仲間が増えたことも私にとって嬉しいことです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



力いっぱい和太鼓を打った開会式

大会開会式オープニングプログラム出演者、歓迎演技 和太鼓奏者
和歌山県立きのかわ支援学校 3 年生 **冷水 航基**



紀の国わかやま大会に参加して

僕は、「紀の国わかやま大会」歓迎演技に出演させていただきました。

演技練習では、最初振り付けが難しかったです。開会式の魚の衣装は、とてもはずかしかったけれど、振り付けは練習の成果が出て、うまくおどることができました。

また、坂本冬美さんの歌声が近くで聞けたので、とても良かったです。

「紀の国わかやま大会」にむけて、学校でメガホンの制作や園芸班のみんなで花を植える活動をしました。活動に参加することで、和歌山県民の一員として役に立つことが出来てとてもうれしかったです。



笑顔ってやっぱり素晴らしい

式典前演技・歓迎演技 振付担当
星沙 紀帆

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会で式典前演技及び歓迎演技の振り付けと指導なる、人生最大のお役目を頂いた。「大丈夫なのか?私」と自問自答。バツと心強い仲間の顔が浮ぶ…そしてその向こうには、沢山の和歌山の方々繋がついている。私の役目は自分の出来る事を力の限りにやる事だと決意した。今までの経験の比ではないフィールドの広さと人数。秒きざみの振り付けに大道具。頭の中に「アル」物と目の前の物とが喧嘩を始める事が何度も在り、夏の暑さも加担して××状態に陥った。そんな時、いつもどこかでだれかが笑顔でいてくださった。「ヤル人もミル人もササエル人も絶対楽しい思い出にして欲しい」と言う私の夢を思い出させてくれて、本当に助けていただいた。当日、天皇皇后両陛下や県内外のスタンドいっぱいのお客様の前で、キラキラの笑顔で大きな拍手を頂いている皆様を見て、感謝の言葉しかありません。笑顔の花が満開。幸せになる笑顔を本当にありがとうございました。

両大会旗を持って行進

国体旗・大会旗保持行進者

日本ボーイスカウト和歌山連盟 海草第1団 ペンチャースカウト隊 **橋本 瑞規**



私は、今回、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の旗手をやらせていただきました。最初のリハーサルの際には、ずっと立っているのがかなり辛かったですが、リハーサルを重ねるたびに段々順番がわかってきて、本番ではうまく出来て良かったです。今回、国体旗・大会旗管理係、国旗掲揚係、支援係を高校生、中学生を中心に総勢30名程度での奉仕でしたが、この奉仕を通して同じ式典メンバーと仲良くなる事も出来ましたし、たくさんの交流が出来たので、参加できて本当に良かったです。また、これからの活動への良い経験が出来ました。名誉ある奉仕をさせていただいたと思っています。ありがとうございました。

富山県のプラカードャーになって

プラカードャー

ガールスカウト和歌山県第5団 シニア部門 **桑畑 侑**



プラカードャーの練習は、すごく暑い時に始まりました。とても厳しくて、しんどくていやになることもありましたが。でも練習のおかげで、国体の本当の入場や退場の時に失敗せずにできてよかったと思いました。

国体の開会式は一番緊張しました。後ろにたくさんの選手団の人達が並んでいて、自分が間違ったら後ろの選手団の人達も間違えることになるので、責任重大だな、と強く思ったからです。

でも選手団のみなさんや団長さんが話しかけてくださったのでよかったです。

その後、手紙とキーホルダーが届きました。手紙の中で私を褒めてくださっている文がたくさんあり、それを読んで自分に自信がつけました。とてもよい経験になりました。

プラカードャーを務めて

プラカードャー

ガールスカウト和歌山県第4団 レンジャー部門 **石尾 楓華**



私はわかやま国体に続き、わかやま大会にもプラカードャーとして参加させていただきました。わかやま大会は、車いすの方や目の不自由な方など、障害者の方と一緒に行進するので、歩くスピードをゆっくりにしたり、横目で後ろを確認したりしながら行進しました。

耳の不自由な方と、手話ができる方を通してお話をしたり盲導犬のお話を聞いたり、普段はできない体験をすることができました。大会は国体とはまた違い、心がほっとりと温かくなりました。

国体、大会とも同じ山梨県を担当できて本当に良かったです。

式典アナウンスを終えて

国体総合開閉会式式典アナウンサー

和歌山県立橋本高等学校3年生 **渡邊 結希**



初めてこの式典アナウンサーの話を伺った時は、自分にこんな大役が務まるだろうかと不安でいっぱいでした。けれども、何度も指導していただきながら練習を重ねるうちに、自信を持って、できる限りのことをやろうという気持ちになっていきました。

開会式当日、最初は大変緊張しましたが、全国から集まった選手団の紹介をしながら、みなさんの笑顔を見ていると、私も自然と笑顔になり、リラックスしてのびのびとアナウンスすることができました。

そして、閉会式で最後のアナウンスを終え、スタッフの方々に「お疲れさま」と声をかけていただいたとき、「紀の国わかやま国体」に参加することができて、本当に良かったという思いがこみ上げてきました。それと同時に、この国体が多くの方々への支えや協力によって成り立っていたことを改めて実感し、私のことを支えてくださっている方々がたくさんいたことへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからも、この貴重な経験を忘れず、将来に活かしていきたいと思っています。このような機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。

式典アナウンスを終えて

大会開会式式典アナウンサー

和歌山大学教育学部附属特別支援学校高等部3年生 **筒井 千景**



初めて全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会の開会式式典アナウンサーを務めさせていただきました。

最初は不安もありましたが、人生で2度あるかないかの大会でアナウンサーが出来て凄く貴重で光栄なことだったと、今凄く実感しています。

滑舌の悪い私に式典アナウンサーが務まるはずが無いと思っていましたが、クラスメイトから「筒井さんの事、推薦するよ」と言ってもらえたことが嬉しく、決意をしました。練習は想像より難しく、発音の仕方や間の取り方など覚えるのが大変でした。でも、何度も練習したので自分なりに成長できたと感じています。本番では緊張して喘いでしまう所がありましたが、最後まで言えて良かったです。

大会が終わってから「うまく言えていたよ」と褒めてもらったり、他県から来ていた人達から「上手に言えていたので感動しました」と言われたりした時は自分の声で感動してくれる人たちがいることに、自信を持つことが出来ました。

和歌山国体を終えて

国体総合開閉会式式典アシスタント

智辯学園和歌山高等学校2年生 **前田麻友子**



今回、私は国体総合開閉会式で式典アシスタントを務めさせていただきました。高校生への委任は初めてということで、本当に自分で務まるのかという不安や緊張も募る中で練習が始まりました。同じ式典アシスタントの皆と協力し合い、また県職員の方に励ましていただいたことで少しずつ自信を持てるようになりました。また、この国体の運営に携わる様々な方々の懸命な姿を見て、自分自身も刺激を受け学ぶことも多くありました。すべての任務が無事終わった後、達成感に包まれる中、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちや、もうこれで終わってしまったのだという喪失感も抱きました。それほどこに、今回の任務は充実していました。

中学生の頃は、まだぼんやりとした存在で自分は関わることはないと思っていた和歌山国体ですが、偶然と幸運とが重なって式典アシスタントに選んでいただき、そして貴重な体験ができたことに心から感謝しています。



吹奏楽隊の思い出

式典音楽隊 吹奏楽隊
和歌山大学吹奏楽団 **原 亜弥子**

私は、生まれてから今まで和歌山市で育ちましたが、まさか紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の式典音楽隊として演奏できるとは思いませんでした。年が明け楽譜が配られ、毎月合同練習がありました。当初はなかなか本番の様子を想像することはできませんでした。

しかし、8月に入り競技場でのリハーサルが始まると、実際に炬火台の下で演奏することでイメージが湧き、国体・大会がより現実的になりました。

開会式、地元紀三井寺公園に全国からたくさんの方が集まり、会場全体が高揚している独特の空気感の中での演奏は、忘れられません。

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会が終わり、少し寂しい気持ちになりましたが、40年に1度しか開催されない国体・大会にこのように大きく関わったことは、一生の思い出です。貴重な経験をありがとうございました。



合唱隊に参加して

式典音楽隊 合唱隊
和歌山児童合唱団 **植松 美侑**

私は、今回の紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に、式典音楽隊として携わるという素晴らしい経験をさせていただきました。

高校や大学の合唱部や社会人で結成された私たち合唱隊は、個々の練習の成果を持ち寄り、吹奏楽隊のみなさんとのリハーサルを重ねていくにつれて、いよいよ国体が始まるのだと気持ちが高ぶっていました。

そして、待ちに待った本番がやってきました。メイン会場の紀三井寺公園陸上競技場は、リハーサルの時には感じることはできなかった熱気と興奮に包まれ、無事にすべてのプログラムを終えることができました。

和歌山で国体が開催されるのは44年ぶりということですが、このような記念すべき大会を陰で支える一員として活動できたことを誇りに思います。大変貴重な経験をさせていただくことができました。

最後になりましたが、国体運営の関係者の方々、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

心に刻まれた皆さんの笑顔

開閉会式フィールド司会者
高松良誠・山田みゆき

前回の黒潮国体。小学6年生の私は、芝生席から、選手に声援を送っていました。

あれから44年。紀の国わかやま国体。同じ紀三井寺公園陸上競技場。今度は総合開閉会式の司会という大役を多くの方のお力添えにより、無事終えることが出来ました。県選手団の力強さ、ボランティアの心配り、華を添えてくれたパフォーマーの熱い気持ち。全てが財産です。閉会式で見せてくれた選手の笑顔は一生忘れることはないでしょう。(高松)

国体・大会を通じ、開会式では「これから競技が始まるぞ」という緊張感、又閉会式では参加したすべての皆さんが清々しい表情で、最後、別れを惜しみながら、退場する様子が今も心に刻まれています。私自身、このすばらしい瞬間を司会という立場で共有できた事を幸せに感じています。開催まで、多くのスタッフが尽力される姿も目の当たりにしてきました。本当にみなさんありがとうございました。そしてお疲れ様でした。(山田)



国体・大会史上最高の式典

舞台監督、進行統括
上田 明朗

国体・大会史上最大の大道具(おそらく)、国体・大会史上最小の控室(おそらく)、国体・大会史上最狭のゲート回り(おそらく)。それに引き替え凝った企画。「これって本当にできる?」

舞台監督として引き受けた時の第一印象である。

約2年前から関わらせていただき、現場の下見、図面チェックに打合せ。

進行表、台本の修正を重ねるたびに、その思いは膨らむばかり。

カウントダウンボードの数字が二ケタになるころ、気温とともに練習会の熱気もヒートアップ。出演者、関係スタッフの一体感を感じはじめた。

小さな光が見えた。そして最終リハーサル終了とともに光は大きくなった。

演出の瀧本さん、振付の星沙先生、パトンの嶋先生をはじめ、ご指導いただいた諸先生方、そして、全出演者のみなさん。事務局、JV、進行Dのみなさん。みなさんのおかげで国体・大会史上最高(自画自賛)の式典ができました。お疲れさまでした。ありがとうございました!



「木の国」きいちゃんでおもてなし

チェーンソーアート世界チャンピオン

立体造形作家 **城所ケイジ**

2015年の年明け、龍神村森林組合の初競りで、直径1mを超える樹齢100年を超す巨大な杉の丸太に出会いました。こんなに太い大きな木なら、どんな作品も作れそうだと考え、競り落としました。

その後、国体関係者の方から、「全国からやってくる国体及び大会の選手、観客の皆さんをお迎えするために国体・大会キャラクター「きいちゃん」を紀の国(木の国)和歌山にちなんで木で彫って欲しい」という依頼があり、その大きな木を使いきいちゃんを彫ることに決まりました。

チェーンソーで制作するにあたっては、きいちゃんが簡単そうに見えて大変難しいデザインなので苦労もありました。

100年という長い年月を過ごした木が人の目に触れる場所に出てくるまでには多くの人の手がかかっています。私もその一つの手になれたことを光栄に思っています。

『高野の森』幻の2ヶ月

株式会社井内屋種苗園
代表取締役 **井内 優**

「開・閉会式会場設営・運営検討会」委員にご指名いただき、和歌山県の特徴を前面に出し、記憶に残る大会にしたいとの思いから、陸上競技場前の芝生地をお借りし、和歌山県らしい植栽を提供したいと思い、第62回全国植樹祭の折、天皇后両陛下のお手植えされた樹種を主体に、地元高野植の太木をはじめとした県木等を植え、『高野の森』の景観作りに努めました。会期中は景観維持を常に気にかけてからの日々だった事が思い出されます。

お陰様で好評でしたとお聞きし、胸をなで下ろしました。

さて、国体・大会も終わり、いざ撤去となると、私個人も、おそらく作業に携わった者も名残惜しい気持ちと共に撤去作業を行い、今では元の芝生地となりました。

このような形で参加させていただき、私の人生の中でも強く心に残る思い出となりました事を深く感謝いたします。





紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 木製歓迎看板の製作にあたって

和歌山県立和歌山工業高等学校 産業デザイン科

教員 川口弥生子

産業デザイン科では、国体・大会に訪れる全国の方々を、紀三井寺競技場の入口でお出迎えをする看板の製作に携わりました。看板は縦が3.2m、横は3.5mという大きなサイズで、紀州材のヒノキを使用し、歓迎の文字やわかやま国体・わかやま大会のマスコット「きいちゃん」を、レーザー加工機を使い製作しました。

この作品は今までに取り組んだ中で最も大きな作品であり、生徒達と放課後に行う作業は緊張の連続でした。レーザー加工機で少しずつ絵柄を焼きこむ作業を行う時はいつも、国体・大会に来られた方々に和歌山県の魅力や、おもてなしの気持ちが伝わることを願いながら、製作にあたっていました。

わかやま国体・わかやま大会に携わる機会をいただき、本当にうれしく思います。この経験を励みにし、相手の気持ちにたった「ものづくり」を今後も、生徒に教えていきたいと思います。



選手の姿を見て

競技補助員(陸上競技)

和歌山県立和歌山北高等学校陸上競技部2年生 清水 奈々

私たちは『紀の国わかやま大会』の競技補助員として運営に携わり、様々な形で選手の皆さんと関わらせてもらいました。

私がこの大会で一番感じたことは、選手一人ひとりが全力だったことです。競技前の自信満々な表情、競技中の諦めずに一生懸命ゴールをめざす姿、フィニッシュ後の笑顔や涙。これらはすべて、全力で戦っているからこそ見える姿だと思いました。また、補助員をしている時、選手の方に「清水さん!お仕事よろしくお願いします!」や「頑張ってきます!」など、たくさん声をかけていただきました。「頼られているんだなあ、頑張らないと!」と、元気をもらいました。

人に頼られ、それに応えるということは簡単なことではないけれど、この大会で少しでも成長できたと思うので、これからも誰かに頼れる人でありたいと思いました。そして競技者として、常に何事にも諦めず全力で向かうことを大切に頑張っていこうと思います。



自分が楽しむ、みんなが楽しむ

競技補助員(車椅子バスケットボール)

和歌山県立星林高等学校バスケットボール部2年生 土居奈穂美

私の所属している女子バスケットボール部は「第15回全国障害者スポーツ大会・2015紀の国わかやま大会」で、車椅子バスケットボール競技の補助員として運営に参加させていただきました。

車椅子での競技のため、私は特別なルールがあるものと思っていました。しかし、実際に試合を観てみると私たちと同じルールで行われていました。

車椅子バスケの魅力であるスピード、車椅子を巧みに操りながらの熾烈なポジション争いや車椅子同士の激しいぶつかり合いには、本当に興奮し感激しました。そして、選手の皆さんの生き生きとした、楽しそうな表情がとても印象的でした。

運営に参加することで、スポーツはすべての人が対等であり、大事なことは勝敗だけではなく、自分が楽しむ、みんなが楽しむことだということに気づくことができました。ありがとうございました。



最高の日

都道府県応援団

和歌山市立浜宮小学校4年生 増田実咲希

国体の開会式の日、わたしはわくわくしていました。かんきやくせきに着いて、国体の開会式が始まりダンスやライブでとても盛り上がっていました。

式典では、天のうへいさんがこられて始まりました。「紀の国のみち」では、森・海・人をテーマにしておどられていました。和歌山をイメージしたえんぎがとてもよかったです。歌手の坂本冬美さんも来てとても上げてくれました。和歌山のみりょくと町を全国の人にアピールできてよかったなと思いました。

それから、北海道からおきなわまでの役員、選手団の方が入場してきました。和歌山県の選手団の方は、一番さいごに入場されていました。九百八十名の方がいてすごいなと思いました。全国の役員、選手団のみなさんにおうだんまくとスティックバルーンを持っていっしょうけんめいおうえんしました。おうだんまくをもっておうえんした奈良県にエールをおくれたと思います。国体に参加してとてもいい思い出をつくることができました。本当に楽しく思いました。今度和歌山県に国体きたらぜひおうえんしたいなと思いました。さいごうの一日になったと思います。



イメージソングダンス制作に携わって

りら創造芸術高等専修学校

校長 山上 範子

紀の国わかやま国体・大会のイメージソングダンス制作のお話をいただいたのが、24年6月、内容は子供から年配の方々誰もが踊れて、和歌山に因んだダンスを作ってほしいということでした。

国体・大会イメージソング「明日へto」のリズムカルなDanceVer.にあわせて、青い空、青い海、明るく元気な和歌山をイメージして振り付けを考えたのですが、誰もが踊れるように、オリジナル、簡単、シッティングの3パターンを制作しました。

25年には普及のためのダンスリーダーが養成され、和歌山中にダンスを広く伝えてくださり、26年には国体・大会当日に出演するメンバーを選抜するコンテストが開催され、総勢約400人が選出されました。

そして開会式当日、天皇陛下ご臨席のもと、誰もが元気一杯、洗練とした笑顔で踊りきました。終わった後は「本当に楽しかった。国体が終わっても、きいちゃんダンスを長く続けて踊っていきたい、このダンスの練習を通して仲間が増え、みんなで一つになれた」と皆さんからお聞きし、紀の国わかやま国体・大会のスローガンであった「躍動と歓喜、そして絆」が、この一つのダンスを通して、長く続いていっていただければ制作者としてこれほど嬉しいことはありません。本当にありがとうございました。



きいちゃんフレンズでPR活動

きいちゃんフレンズ

佐田 美鈴

軽い気持ちで「きいちゃんダンス」の練習会に参加してから約1年半、土日になると北は橋本市、南は新宮市とたかが4分されど4分間のきいちゃんダンスを踊る「きいちゃんフレンズ」の一員として両大会のPR活動に参加してきました。カレンダーの土日は全ていいほどきいちゃんマークがつき、たくさんのイベントに出演どこへいても会場の皆さんが手拍子等で応援してくださったり、見よう見まねで踊ってくださったり…少しはPRに貢献できたかなとうれしく感じています。

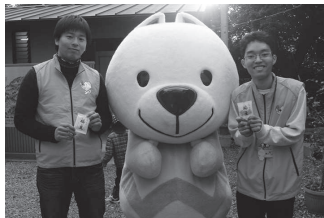
26年11月には、両大会の出演を賭けてきいちゃんダンスコンテストに仲間と一緒に出場し、見事入賞して両大会の開会式にも出演することができました。皇族の方々・大勢の観客の皆さんを前に踊る最高の舞台では、これまでの活動のことや仲間の顔が浮かんで柄にもなく目頭が熱くなりました。

長い間、いろんなイベントで他のダンス等を踊ってきているのに自分でも驚きです。きっとひとつのことを皆で成し遂げた達成感からだと思います。きいちゃんフレンズを通しての出会いと絆、また関係の皆様方の心づかいに感謝しています。ありがとうございました。

ダンスコンテストに参加して

チーム響SMILE
代表 岡田 美和

チーム響は、和歌山県立きのかわ支援学校の生徒の余暇活動の充実を目的に、12年前に結成したダンスチームです。和歌山で国体が開催されるにあたり、自分たちも盛り上げたい!という熱い思いで、きいちゃんダンスに取り組んでいました。そんな中、きいちゃんダンスコンテストがあるということを知り、賞というより、一般の方たちと一緒に同じダンスを踊ることを楽しみに出場しました。すると、思いがけなく一般の部で優勝!オープニングに参加する切符を手に入れることとなりました。障がいがあってもなくとも、自己表現であるダンスを楽しむハートはみんな同じです。そんな想いで続けてきた活動が優勝という形で評価をいただいたことが、大きな励みになりました。開会式当日、満面の笑顔でお客様に手を振る仲間の誇らしげな顔に、希望いっぱい未来を感じました。本番が終わってからも体調等、気にかけてくださった関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。



紀の国やっちゃんろう隊で広報活動

紀の国やっちゃんろう隊
和歌山大学3回生 藤原 舞人

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の成功おめでとうございます。また、両大会に尽力された皆さん、本当にお疲れ様でした。私も微力ではありますがが参加することができて本当によかったと思っています。

私にとって紀の国やっちゃんろう隊に参加してからの2年半はあつという間の出来事でした。和歌山県内各地を回り、きいちゃん折り紙教室やぬりえコーナー、啓発グッズの配布、イベントの司会など普段はできない経験をさせていただきました。活動形態のおかげもありたくさんの仲間と巡り合うこともできました。その中には一度しか会えなかった人や何度も会えた人など様々ですが、たくさんの人と出会えたことにより自分の価値観が大きく広がるいい経験になりました。

と、活動を通して得たことを書かせていただきました。しかし、たぶん一番大きなものは何といってもこの2年半、両大会とともに歩み続けてきた思い出が一番大切なものだと思います。活動の場を作っていただき、またこの機会に巡り合えたことに感謝します。

紀の国わかやま国体・大会に感謝

紀三井寺公園・緑道愛護会
会長 雑賀 功

紀三井寺公園緑道愛護会は競技場に隣接する仲間たちで、この周辺を美化したいと昭和56年に設立したボランティア団体です。会員約180名で、毎月2～3回、競技場や緑道を利用される方々に気持ちよく散歩してもらえるよう清掃活動を続けています。仲間も年々高齢になり活動も大変に感じていましたが、平成24年9月9日に開催された『紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催決定記念イベント』で「わかやま国体・大会を微力ではありますが力一杯協力する」と宣言させていただきました。この宣言後は高齢を若さにと、又心一つになって、「もっと町を美しくしよう、わかやま国体をアピールしよう、訪れる全国の方々に和歌山の町を気持ちよく歩いてもらい、いい思い出にしてもらおう」という思いが強くなり、多くの仲間と心若く、強く、絆をいただき頑張ることができました。今後とも国体を機にいつでもボランティア活動を続けてまいりたいとおもいます。和歌山国体・大会大成功おめでとう。今は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

情報支援ボランティアに参加して

情報支援ボランティア(手話)
卓球リーダー 藤原 一夫



卓球手話のリーダーとして参加しました。

卓球をサークルごとに担当できたので、チームをまとめやすくなりました。又サブリーダーと情報センターの心強い支援で、研修会を重ねる中で、チームワークがより強まったと思います。チームワークが評価されたのか、スポーツマガジンにチームのことを紹介されました。日頃から手話と要約(手)(PC)の連携を取っていたので、今回試合をしながら並行して、表彰式をする方法に変わっても、あわてることなく協力しあってスムーズにできました。表彰式が終わって、選手の方が出て来る時に、拍手でおめでとうと迎えると、涙を流される選手の方もいて、私たちも感動しました。選手団が帰る最後のお見送りを、全員で両側に並びお迎えしたら、選手団の方達はすごく驚いて感激してくれました。その様子にがんばって良かったと最高の喜びをもらいました。このチームのリーダーが出来、一生の思い出になりました。ありがとうございました。

大会に携わって

情報支援ボランティア(手書き要約筆記)
総括 三浦 美保

公式練習も含め4日間の大会が晴天に恵まれ、無事に閉会を迎えました。

開催決定後、先催県への視察のたびに不安にかられ、わかやま大会はどのような形をとればいいのか暗中模索でした。大会事務局・情報センター・リーダー・サブリーダー・情報支援ボランティアの皆さんから、多くのアイディア・助言のおかげで形ができました。一生に一度あるかないか、巡り合わせよく参加の機会を得て、情報支援ボランティアとして関わるのがなければ味わうことがなかったであろう体験。全国から出場された選手の皆さんの活躍を間近に見て感動しました。また要約筆記に携わるものとして、「書いて伝える」ことの必要性を少しでも多くの方に知っていただける機会になればとの想いもありました。開催までの数年間、視察、テキスト作成、ボランティア養成、研修などいろいろと勉強になりました。参加された全てのボランティアさんもよい思い出となったことと思います。ありがとうございました、そしてお疲れさまでした。



緊張の3日間ー素晴らしき仲間とともに

情報支援ボランティア(パソコン要約筆記)
水泳担当 前川 宗久

最終日、最後の競技結果を無事、モニターへ表示した直後、PC要約筆記室では自然と拍手が沸き起こりました。三日間の張りつめた緊張が解けた瞬間です。

私にとって初めてのボランティア体験。それも仕事でパソコン使ってただけで選んだPC要約筆記。先生役のフレンズ9メンバーの曲芸的なテクを見て、「ムリムリ!」が第一印象でした。そんな初心者者が10人中7人。本番の緊張は当然です。

なんとかこなせたのは、新米もできるEXCELフル活用という新たな試みと、リーダーを中心にした適材適所の役割分担、そして見事なチームワークのお蔭でした。

会場では、不自由をものともしない選手・関係者の奮闘に心揺さぶられると共に、こんなハラハラドキドキの素晴らしい体験を、素敵なメンバーと共有できたことに心から感謝します。

やればやるほど、人の役に立つことが実感できるボランティア活動。今後とも、なんらかの形で参画していきたいと願っています。





選手団サポートボランティアに参加して

選手団サポートボランティア(バレーボール(身))
和歌山県歯科衛生士専門学校 **山田 宏美**

私は、聴覚障害者の方のサポート担当でした。学校で手話の授業はありましたが、挨拶程度しかできず、手話で生活をしている聴覚障害者の方とコミュニケーションがとれるか凄く不安でした。しかし、皆さんとお会いするとその不安はなくなりました。

私たちはゆっくりと慣れない手話をしたり、口の動きで言葉を読み取ってもらったり、難しいときは空書や筆談を用いたり、私が想像していたよりも、コミュニケーションがとれて伝わりました。趣味の話や、最近のニュースの事など色々なお話をしたり、手話も沢山教えていただきました。ボランティアは荷物持ちや試合の応援、練習のお手伝いなど大変なこともありました。それ以上に楽しかった思い出が多く残っています。

そして今回のサポートボランティアを通じて分かったことは、たとえ聴覚障害という壁があっても、伝えようとする気持ちと、理解しようとする気持ちがあれば、伝わるし伝えられるということです。大きさに聞こえるかもしれませんが、その事は私の中で大きな発見になりました。



選手団サポートボランティアに参加して

選手団サポートボランティア(フライングディスク)
紀南看護専門学校 **加藤 祐**

最初は意欲的になれませんでした。が、県の職員の方や、担当させていただいた選手の皆さんが気さくに話しかけてくださり、楽しんでボランティアに参加することができました。

写真を撮ったり、飲み物を準備することぐらいしかできませんでしたが、選手全員がメダルを取ることができたのはボランティアのおかげだとおっしゃってくださったことが今でも心に残っています。障害者の方とふれあう機会は今まであまりなく、どのように接してよいかわ不安になることもありました。が、障害を感じさせないくらいお元氣な方が多く、逆に私が元気づけられました。

最後のお別れの時はとても悲しく、思わず涙を流してしまいましたが、連絡先を交換していただき、「これで終わりにじゃないからね」と優しい言葉をかけてくださり、心が温まりました。一生に一度の体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



紀の国わかやま国体における和歌山県 アスレティックトレーナー連絡協議会活動報告

和歌山県アスレティックトレーナー連絡協議会
代表 **貴志 真也**

紀の国わかやま国体で和歌山県が男女総合優勝するには、選手のコンディショニングが重要と考え、和歌山県アスレティックトレーナー連絡協議会を2012年に設立しました。本協議会は、日本体育協会

公認アスレティックトレーナーを正会員、理学療法士、柔道整復師、鍼灸師などの資格を有しかつスポーツ現場で活動している方を準会員とし、現在、正会員18名、準会員116名の計134名が在籍しています。本協議会の目的は、本国体男女総合優勝に向けての和歌山県選手団のコンディショニングサポートであります。本国体では、本部帯同トレーナー5名、38競技に対して85名のトレーナーを派遣しました。処置件数は応急処置24件、アイシング164件、疲労回復のためのストレッチ、マッサージなどのケア・コンディショニング695件、テーピング204件と過去最大のサポート件数であります。本国体におけるトレーナー活動は、トレーナーの資質向上、選手と共に感動を味わうなど非常に良い経験をさせていただきました。そのことに感謝し、「紀の国わかやま国体」で発足・発展してきた本会が国体終了後にも維持発展していけるよう現場での活動を充実させたいと思います。



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を 振り返って

和歌山県国体推進監 **若宮 茂樹**

第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」は、連日天候にも恵まれ、全日程を終了することができました。開催に至るまでの間、男女総合優勝に向けた競技力向上対策をはじめ、宿泊施設の確保や輸送対策など山積する様々な課題に直面し、一つひとつ知恵を絞り、工夫を重ねながら解決して臨んだ半世紀に一度の一大イベントを無事に終えることができ、今は安堵の気持ちで一杯です。

これは、大会関係者をはじめ、県民の皆様、企業・団体の皆様のご協力なしでは到底なしえなかったことであり、ご協力を賜った全ての皆様に心から感謝申し上げます。

両大会の準備を進めるにあたり、県民総参加で夢と感動を共有できる大会にしたいと考え、「男女総合優勝」、「心のこもった“おもてなし”」、「和歌山の魅力発信」、「障害に対する理解と障害者の社会参加の促進」を目標に掲げ、職員一丸となって取り組んできました。

競技力向上については、「紀の国わかやま国体」では、念願の男女総合優勝(天皇杯獲得)、紀の国わかやま大会では、過去最多の127個のメダル獲得と、本県選手団が「チーム和歌山」として心をつ一つにして戦い、立派な成績を残してくれました。

また、全国から来県された皆さんから「各都道府県選手への応援やボランティアの皆さんの心のこもったおもてなしが素晴らしい」とのお褒めのお言葉を多数いただきました。これは、たくさんの県民の皆さんが「花いっぱい運動」や「クリーンアップ運動」などの県民運動や開閉会式や各競技会のボランティアとしてご参加いただいたお陰であり、県民の皆様と一体となって創り上げた大会がこのように賞賛されたことは、何よりもうれしく、誇らしく思っています。

さらに、両大会の開会式では、『紀の国の“みち”』をテーマに、本県の自然と人々の中に息づく「森」、「海」、「心」、「未来」の4つの“みち”をパフォーマンスや歌でストーリーに仕立てた演技を披露し、和歌山の魅力を発信しましたが、エンディングで見せてくれた出演して下さった県民の皆様の笑顔は、今も心に残る素晴らしいものでした。

また、県内各地の競技会場では、連日大勢の観客が詰めかけて、熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。選手相互の絆、選手と観客の絆、地域の方々と全国からの来県者との交流など、両大会スローガンの「躍動と歓喜、そして絆」を実現できた両大会であったと思います。

両大会にお力添えを賜った皆様に心から御礼申し上げます。

協賛企業・団体 特別協賛一覧

◆国体パートナー（6社）

株式会社ローソン
大塚製薬株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
アシックスジャパン株式会社
ミズノ株式会社
サントリーホールディングス株式会社

◆オフィシャルスポンサー（21社・団体）

エバグリーン廣甚株式会社
株式会社オークワ
株式会社紀陽銀行
株式会社島精機製作所
中野BC株式会社
きのくに信用金庫
株式会社湊組
株式会社松源
JAグループ和歌山
新日鐵住金株式会社
南海電気鉄道株式会社
NTT西日本 和歌山支店
株式会社はまだ
ノーリツ銅機株式会社
株式会社浅川組
花王株式会社
浅井建設株式会社
東燃ゼネラル石油株式会社
株式会社大黒
一般財団法人和歌山環境保全公社
三菱電機株式会社

◆オフィシャルサプライヤー（77社・団体）

株式会社南北
株式会社西本
有限会社イトダネーム
株式会社イシワタ
株式会社スーパーホンダ和歌山
株式会社スズキモーター和歌山
和歌山日産自動車株式会社
株式会社和歌山マツダ
日産プリンス和歌山販売株式会社
和歌山ダイハツ販売株式会社
和歌山トヨタ自動車株式会社
和歌山トヨペット株式会社

トヨタカローラ和歌山株式会社
ネットヨタ和歌山株式会社
株式会社ホンダ四輪販売南近畿
農林中央金庫大阪支店
株式会社ウエストホールディングス
株式会社松原造園土木
和歌山ヤクルト販売株式会社
公益社団法人和歌山県トラック協会
株式会社小池組
株式会社熊野新聞社
株式会社コムテック
和歌山県スポーツ用品小売協同組合
デュプロ精工株式会社
紀州新聞社
東和冷機株式会社
株式会社山本進重郎商店
公益社団法人和歌山県バス協会
和歌山県遊技業協同組合
社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会
美津濃株式会社
オーヤシマ株式会社
株式会社紀南新聞社
丸長水産株式会社
株式会社プラス
木本産業株式会社
株式会社酒直
紀陽除虫菊株式会社
和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社
和歌山日野自動車株式会社
川口水産株式会社
丸良木材産業株式会社
株式会社タカショー
とれとれ市場南紀白浜株式会社
おやつラボ紀の国株式会社
紀の国住宅株式会社
リコージャパン株式会社
紀の国はまゆう
近畿電設工業株式会社
弘安建設株式会社
株式会社夏山組
株式会社ユニフルーティージャパン
菱岡工業株式会社
株式会社オオミヤ
ニッポンレンタカー関西株式会社
一般財団法人和歌山環境保全公社
株式会社オカザキ紀芳庵
サカイキャニング株式会社
株式会社オークワ
株式会社ウィルバーン商事

株式会社エスアールアイ
全国マツダ労働組合連合会
株式会社井内屋種苗園
ALSOKありがとう運動
株式会社モデナ
トータルネット株式会社
株式会社城山
アイコム株式会社
西日本高速道路株式会社関西支社
パナソニック株式会社
日本酪農協同株式会社
株式会社島精機製作所
西日本旅客鉄道株式会社
公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
和歌山マリーナシティ株式会社
TSAグループ

◆大会協力企業（38社・団体）

株式会社和歌山印刷所
野村證券株式会社和歌山支店
有限会社南国
株式会社和歌山新報社
一般社団法人生命保険協会 和歌山県協会
住友生命保険相互会社和歌山支社
株式会社ルイ高
ニュース和歌山株式会社
株式会社日本政策金融公庫 和歌山支店
有田交通株式会社
フジグループ 株式会社フジ田産業
中和印刷紙器株式会社
株式会社佐倉幸保商店
レンタルハウス株式会社
和歌山測量株式会社
株式会社西峰工務店
株式会社かわしま
株式会社宮井新聞舗
株式会社藤本水道
一般社団法人和歌山県産業廃棄物協会
徳美堂印舗
株式会社エース産業
みずほ証券株式会社和歌山支店
和歌山東南ロータリークラブ
株式会社重岡
小川工業株式会社
日中金属貿易株式会社
Rotary E-Club Sunrise of Japan
株式会社ジェイク

和歌山県菓子工業組合
トランスコスモス株式会社
公益社団法人和歌山県宅地建物取引業協会
南海果工株式会社
株式会社福菱
熊野小型運送株式会社
大和証券株式会社和歌山支店
レンゴー労働組合
株式会社サニクリーン近畿

◆第15回全国障害者スポーツ大会特別協賛

大同生命保険株式会社

さいちゃん募金 寄附者一覧

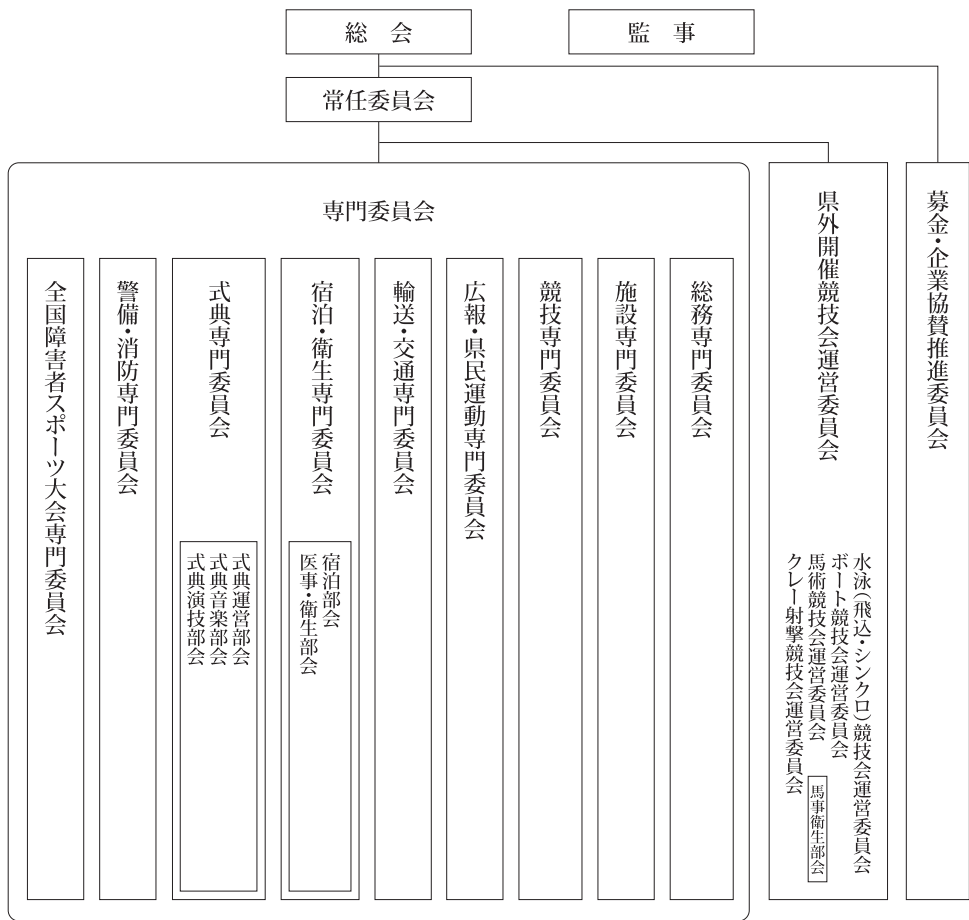
公益財団法人大桑教育文化振興財団
株式会社紀陽銀行
株式会社島精機製作所
中野BC株式会社
きのくに信用金庫
小久保 裕紀
株式会社湊組
株式会社南北
株式会社松源
JAグループ和歌山
新日鐵住金株式会社
菱岡工業株式会社
南海電気鉄道株式会社
新中村化学工業株式会社
セイカ株式会社
NTT西日本 和歌山支店
笠野興産株式会社
紀和化学工業株式会社
株式会社小池組
小西化学工業株式会社
株式会社宮本工業
大和化成工業株式会社
本州化学工業株式会社
南海化学株式会社
小畑産業株式会社
株式会社はまだ
株式会社海邊組
和歌山県生コンクリート協同組合連合会
ノーリツ鋼機株式会社
株式会社山本進重郎商店
三木理研工業株式会社
花王株式会社
和歌山県遊技業協同組合
社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会
株式会社中長商店
朝日産業株式会社
岡本 公爾
株式会社クズモト
株式会社日本化学工業所
カナセ工業株式会社
第一電機設備工業株式会社
株式会社山長商店
紀南砕石工業株式会社
中田食品株式会社
株式会社田中組
株式会社尾花組
株式会社丸山組
株式会社かねやす建設
株式会社サンコー

株式会社東組
株式会社タチバナ
丸長水産株式会社
三友工業株式会社
株式会社豊工業所
株式会社プラス
株式会社オプラス
浅井建設株式会社
株式会社保田組
井筒建設株式会社
アクロナイネン株式会社
株式会社浅川組
株式会社サイバーリンクス
東燃ゼネラル石油株式会社
株式会社ケイズ
株式会社共栄テクシード
株式会社大西屋
太洋工業株式会社
紀州技研工業株式会社
株式会社大黒
堅田漁業協同組合
株式会社上市屋材本店
築野食品工業株式会社
株式会社中井組
第五工業株式会社
株式会社共栄建設工業
新宮信用金庫
株式会社関三吉商店
一般社団法人和歌山県建築士事務所協会
株式会社夏山組
株式会社小森組
WakayamaT&M
株式会社古部組
株式会社柏木建設
杉谷産業株式会社
株式会社タニガキ建工
総合型スポーツクラブ エンジョイスportsわかやま
三洋建設株式会社
株式会社池田土木
南部生コン工業株式会社
一般財団法人和歌山環境保全公社
スガイ化学工業株式会社
株式会社田所建設
森脇 節子
株式会社丸和
和歌山県製業協会
株式会社泉組
木下建設株式会社

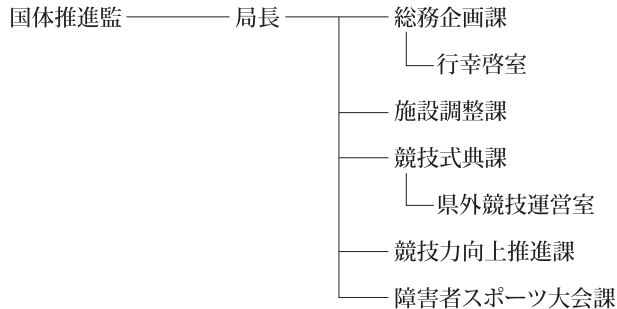
キリックスグループ
(株式会社名豊本社、キリックスリース株式会社、ネッツトヨタ東名古屋株式会社)
朝日化学工業株式会社
一般社団法人和歌山県建設業協会
株式会社シュテルン和歌山
三菱電機株式会社
株式会社第一テック
和歌山県商工会議所連合会
木原造林株式会社
公益財団法人日母おぎゃー献金基金
清端紙工印刷株式会社
公益財団法人奥田育英会
株式会社カワ

※多額の寄附をいただいた方を受付順に掲載(敬称略)させていただいておりますが、その他多くの企業・団体・個人の皆様からもご協力をいただきました。

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会 組織図



事務局(平成27年4月1日現在 和歌山県国体推進局 組織図)



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会委員名簿 (335人) (H27.10.4現在)

会長・副会長(8人)		
会 長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
副会長	和歌山県議会議長	前芝 雅嗣
副会長	和歌山県副知事	下 宏
副会長	和歌山県市長会会長	田岡実千年
副会長	和歌山県町村会会長	小出 隆道
副会長	和歌山市市長	尾花 正啓
副会長	公益社団法人和歌山県体育協会会長	仁坂 吉伸
副会長	和歌山県障害者スポーツ協会会長	仁坂 吉伸

常任委員(56人)	
和歌山県議会副議長	藤山 将材
和歌山県議会総務委員会委員長	森 礼子
和歌山県議会文教委員会委員長	立谷 誠一
和歌山県議会福祉環境委員会委員長	多田 純一
和歌山県議会スポーツ振興議員連盟会長	尾崎 要二
和歌山県知事室長	宮崎 泉
和歌山県危機管理監	和歌 哲也
和歌山県総務部長	市川 靖之
和歌山県企画部長	高瀬 一郎
和歌山県環境生活部長	栗山 隆博
和歌山県福祉保健部長	幸前 裕之
和歌山県商工観光労働部長	藤本 陽司
和歌山県農林水産部長	鎌塚 拓夫
和歌山県県土整備部長	野尻 邦彦
和歌山県教育委員会教育長	宮下 和己
和歌山県教育委員会教育総務局長	岡野 充伸
和歌山県教育委員会生涯学習局長	楠 義隆
和歌山県教育委員会学校教育局長	田村 光穂
和歌山県警察本部長	直江 利克
和歌山県市長会事務局長	吉田 武弘
和歌山県町村会事務局長	宇恵 元昭
和歌山県市議会議長会会長	尾崎 方哉
和歌山県町村議会議長会会長	赤阪 岩男
和歌山県都市教育長協議会会長	原 一起
和歌山県町村教育長会会長	橋戸 常年
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	山口 裕市
和歌山県障害者スポーツ協会副会長	谷本 忠信
和歌山県中学校体育連盟会長	宮本 昌昭
和歌山県高等学校体育連盟会長	宮本 和幸
和歌山県支援学校体育連盟会長	川口 則光
和歌山県スポーツ推進審議会会長	大桑 増嗣
和歌山県スポーツ推進委員協議会会長	筋師 光博
和歌山県連合小学校長会会長	中村 典弘
和歌山県中学校長会会長	藤本 禎男
和歌山県高等学校長会会長	高垣 正儀
和歌山県特別支援学校長会会長	三反田和人
和歌山県私立中学高等学校協会会長	藤田 清司
公益社団法人和歌山県バス協会会長	井上 慎治
一般社団法人和歌山県タクシー協会会長	川村 昌彦
一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会会長	田畑 孝芳
和歌山県商工会議所連合会会長	片山 博臣
和歌山県商工会連合会会長	森田 敏行
和歌山県中小企業団体中央会会長	妙中 清剛

和歌山県経営者協会会長	竹田 純久
一般社団法人和歌山経済同友会代表幹事	大桑 増嗣
一般社団法人和歌山銀行協会会長	松岡 靖之
協同組合和歌山県旅行業協会代表理事	小山 哲生
和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	坂口 邦嗣
公益社団法人和歌山県観光連盟会長	藤本 陽司
一般社団法人和歌山県医師会会長	寺下 浩彰
一般社団法人和歌山県歯科医師会会長	中谷 譲二
一般社団法人和歌山県薬剤師会会長	稲葉 真也
公益社団法人和歌山県病院協会会長	成川 守彦
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会会長	仁坂 吉伸
和歌山県婦人団体連絡協議会会長	堰本 信子
和歌山県青年団体連絡協議会会長	中西 重裕

監事(4人)	
和歌山県会計管理者	岩橋 良晃
和歌山県市長会副会長	真砂 充敏
和歌山県町村会副会長	寺本 光嘉
和歌山県町村会副会長	小谷 芳正

委員(244人)	
和歌山県海草振興局長	岡本 圭剛
和歌山県那賀振興局長	室谷 匡利
和歌山県伊都振興局長	古田 雅昭
和歌山県有田振興局長	石塚 和夫
和歌山県日高振興局長	岡本 敏秀
和歌山県西牟婁振興局長	榎本 善行
和歌山県東牟婁振興局長	土井 敏弘
和歌山県議会議務局長	江川 和明
和歌山県警察本部警務部長	角 広志
和歌山県警察本部生活安全部長	丸木 健嗣
和歌山県警察本部交通部長	江南 拓哉
和歌山県警察本部警備部長	亀位 義之
和歌山県議会議員	中 拓哉
和歌山県議会議員	岩井 弘次
和歌山県議会議員	奥村 規子
和歌山県議会議員	長坂 隆司
和歌山県議会議員	宇治田栄蔵
和歌山県議会議員	尾崎 太郎
和歌山県議会議員	片桐 章浩
和歌山県議会議員	新島 雄
和歌山県議会議員	井出 益弘
和歌山県議会議員	菅原 博之
和歌山県議会議員	山下 直也
和歌山県議会議員	藤本真利子
和歌山県議会議員	浦口 高典
和歌山県議会議員	難賀 光夫
和歌山県議会議員	岩田 弘彦
和歌山県議会議員	中西 峰雄
和歌山県議会議員	中本 浩精
和歌山県議会議員	浅井修一郎
和歌山県議会議員	中村 裕一
和歌山県議会議員	泉 正徳
和歌山県議会議員	鈴木 太雄

和歌山県議会議員	谷口 和樹
和歌山県議会議員	濱口 太史
和歌山県議会議員	岸本 健
和歌山県議会議長	山田 正彦
和歌山県議会議員	服部 一
和歌山県議会議員	川畑 哲哉
和歌山県議会議員	山本 茂博
和歌山県議会議員	堀 龍雄
和歌山県議会議員	吉井 和視
和歌山県議会議員	松坂 英樹
和歌山県議会議員	坂本 登
和歌山県議会議員	花田 健吉
和歌山県議会議員	富安 民浩
和歌山県議会議員	秋月 史成
和歌山県議会議員	谷 洋一
財務省近畿財務局和歌山財務事務所長	杉林 雅史
国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長	寺沢 直樹
国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局長	村上 達俊
海上保安庁和歌山海上保安部長	土師 亮
気象庁和歌山地方気象台長	三浦 郁夫
自衛隊和歌山地方協力本部長	西村 和己
海南市長	神出 政巳
橋本市長	平木 哲朗
有田市長	望月 良男
御坊市長	柏木 征夫
田辺市長	真砂 允敏
新宮市長	田岡実千年
紀の川市長	中村 慎司
岩出市長	中芝 正幸
紀美野町長	寺本 光嘉
かつらぎ町長	井本 泰造
九度山町長	岡本 章
高野町長	平野 嘉也
湯浅町長	上山 章善
広川町長	西岡 利記
有田川町長	中山 正隆
美浜町長	森下 誠史
日高町長	松本 秀司
由良町長	畑中 雅央
印南町長	日裏 勝己
みなべ町長	小谷 芳正
日高川町長	市木 久雄
白浜町長	井調 誠
上富田町長	小出 隆道
すさみ町長	岩田 勉
那智勝浦町長	寺本 真一
太地町長	三軒 一高
古座川町長	武田 丈夫
北山村長	奥田 貢
串本町長	田嶋 勝正
一般財団法人和歌山陸上競技協会会長	大桑 増嗣
和歌山県水泳連盟会長	尾崎 要二
一般社団法人和歌山県サッカー協会会長	室 紀男
和歌山県テニス協会会長	長坂 隆司
和歌山県ボート協会会長	泉 充治
和歌山県ホッケー協会会長	二階 俊博

和歌山県ボクシング連盟会長	目良 敏
和歌山県バレーボール協会会長代行	東内 敏幸
和歌山県体操協会会長	世耕 弘成
和歌山県バスケットボール協会会長	小村 文宏
和歌山県レスリング協会会長	森下 正紀
和歌山県セーリング連盟会長	中井 國雄
和歌山県ウエイトリフティング協会会長	宇治田栄蔵
和歌山県ハンドボール協会会長	鶴保 庸介
和歌山県自転車競技連盟会長	林 英成
和歌山県ソフトテニス連盟会長	松原 秀機
和歌山県卓球協会会長	茂原 治
和歌山県軟式野球連盟会長	下川 俊樹
和歌山県相撲連盟会長	兼田 守
和歌山県馬術連盟会長	櫻畑 直尚
和歌山県フェンシング協会会長	米丘 健
公益財団法人和歌山県柔道連盟会長	谷口 久雄
和歌山県ソフトボール協会会長	二階 俊博
和歌山県バドミントン協会会長	石田 真敏
和歌山県弓道連盟会長	田中 康雄
和歌山県ライフル射撃協会会長	浦 純久
和歌山県剣道連盟会長	世耕 弘成
和歌山県ラグビーフットボール協会会長	藤田憲太郎
和歌山県山岳連盟会長	小比賀利雄
和歌山県カヌー協会会長	鈴木 太雄
和歌山県アーチェリー協会会長	世耕 弘成
和歌山県空手道連盟会長	宇治田栄蔵
和歌山県銃剣道連盟会長	尾崎 要二
和歌山県クレー射撃協会会長	井出 益弘
和歌山県なぎなた連盟会長	新島 雄
和歌山県ボウリング連盟会長	西田 一善
和歌山県ゴルフ連盟会長	竹田 信男
和歌山県スキー連盟会長	矢船 保夫
和歌山県スケート連盟会長	山下 直也
和歌山県アイスホッケー連盟副会長	木下 嘉博
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	宮下 和己
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	大桑 増嗣
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	山下 郁夫
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	南 正晃
公益社団法人和歌山県体育協会副会長	中嶋 淳行
公益社団法人和歌山県体育協会理事	志場 紀之
公益社団法人和歌山県体育協会理事	井出 益弘
公益社団法人和歌山県体育協会理事	上野 富治
公益社団法人和歌山県体育協会理事	宇治田栄蔵
公益社団法人和歌山県体育協会理事	榎本 任志
公益社団法人和歌山県体育協会理事	兼田 守
公益社団法人和歌山県体育協会理事	川並久美子
公益社団法人和歌山県体育協会理事	桑原久仁夫
公益社団法人和歌山県体育協会理事	小比賀利雄
公益社団法人和歌山県体育協会理事	高橋 次夫
公益社団法人和歌山県体育協会理事	高橋 征夫
公益社団法人和歌山県体育協会理事	田中 秀和
公益社団法人和歌山県体育協会理事	中村 源和
公益社団法人和歌山県体育協会理事	西川喜久雄
公益社団法人和歌山県体育協会理事	西田 一善
公益社団法人和歌山県体育協会理事	花田 一弥
公益社団法人和歌山県体育協会理事	松下 吉秀

公益社団法人和歌山県体育協会理事	山本 嘉一
公益社団法人和歌山県体育協会理事	山本 明広
公益社団法人和歌山県体育協会理事	森下 敏彦
公益社団法人和歌山県体育協会理事	土井 雅史
公益社団法人和歌山県体育協会理事	竹田 信男
公益社団法人和歌山県体育協会理事	島本 久仁
公益社団法人和歌山県体育協会理事	田中 清子
公益社団法人和歌山県体育協会理事	玉山 晋一
公益社団法人和歌山県体育協会理事	宮本 昌昭
公益社団法人和歌山県体育協会理事	高松 通博
公益社団法人和歌山県体育協会理事	脇村 建
公益社団法人和歌山県体育協会理事	冷水 照夫
公益社団法人和歌山県体育協会監事	伊藤 洋
公益社団法人和歌山県体育協会監事	森本 好典
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	片山 博臣
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	桑原 一良
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	村上 恒夫
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	宮本 和幸
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	野見 典展
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	下川 俊樹
公益社団法人和歌山県体育協会顧問	島 正博
和歌山県スポーツ医科学委員会委員長	岩崎 正文
和歌山県スポーツ少年団本部長	中嶋 淳行
和歌山県レクリエーション協会会長	谷口 治美
一般財団法人和歌山県高等学校野球連盟会長	志賀 秀生
公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団理事長	山口 裕市
国立大学法人和歌山大学長	瀧 寛和
一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協合理事長	坂本 順一
和歌山県PTA連合会会長	龍川 嘉彦
和歌山県高等学校PTA連合会会長	西原 英男
西日本電信電話株式会社和歌山支店長	中澤 輝仁
関西電力株式会社和歌山支社長	安藤 康志
西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社長	川井 正
南海電気鉄道株式会社和歌山支社長	浦地 紅陽
和歌山電鐵株式会社代表取締役社長	小嶋 光信
紀州鉄道株式会社御坊事業所副所長	岡地 重行
和歌山県信用金庫協会会長	香山 正人
和歌山県農業協同組合中央会会長	中家 徹
和歌山県森林組合連合会代表理事会長	美野 勝男
和歌山県漁業協同組合連合会代表理事会長	木下 吉雄
一般社団法人和歌山県建設業協会会長	中井 賢次
和歌山県飲食業生活衛生同業組合理事長	花岡 豊
一般社団法人和歌山県食品衛生協会会長	東山 泰清
公益社団法人和歌山県栄養士会会長	畑中 一浩
一般社団法人和歌山県調理師会会長	前田 洋三
和歌山県外食産業協同組合理事長	伊東 満彦
和歌山県物産振興協会会長	深見 晴彦
公益社団法人和歌山県看護協会会長	紀子 紀子
日本赤十字社和歌山県支部長	仁坂 吉伸
和歌山県保健所長会会長	松本 政信
公益社団法人和歌山県青少年育成協会会長	仁坂 吉伸
日本ボーイスカウト和歌山連盟理事長	山本 一郎
一般社団法人ガールスカウト和歌山県連盟	平野 眞理
一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会会長	遠藤 吉貞
和歌山県ボランティア連絡協議会会長	北出賀江子
一般財団法人和歌山県交通安全協会会長	大岡 淳人

和歌山県綱引連盟会長	中村 慎司
和歌山県ゲートボール協会会長	小田 實
和歌山県パワーリフティング協会会長	宇治田栄蔵
和歌山県グラウンド・ゴルフ協会会長	宮田 栄子
和歌山県合気道連盟会長	九鬼 家隆
和歌山県インディアカ協会会長	阿部克比古
古座川町体育協会会長	武田 丈夫
由良町体育協会会長	岡 眞治
太地町体育振興協会会長	宇佐川彰男
公益社団法人日本エアロビック連盟理事長	知念かおる
和歌山県オリエンテーリング協会会長	山下 直也
海南市カローリング協会会長	瀬川 禎彦
公益社団法人日本近代五種協会会長	浪越 信夫
田辺市体育連盟会長	桑原久仁夫
和歌山県ゲートゴルフ協会会長	寺本 光嘉
公益社団法人日本3B体操協会・和歌山県支部長	寺杣 圭子
和歌山県サーフィン連盟会長	梅本 利樹
和歌山県スポーツチャンバラ協会会長	安田 孝雄
和歌山県スポーツ吹矢協会会長	福原 広次
橋本市体育協会会長	平木 哲朗
和歌山庭球野球協会会長	大沼 裕樹
NPO法人日本テニスボール協会和歌山県連盟会長	新島 雄
和歌山県日本拳法連盟会長	橋爪 健二
和歌山県バウンドテニス協会会長	岩崎 誠一
和歌山県フライヤー連盟理事長	向平 昭良
紀美野町パークゴルフ協会会長	寺本 光嘉
和歌山県ビリヤード協合理事長	黒木 薫
和歌山県ビーチラグビー協会会長	田野 清剛
美浜町体育協会会長	濱 正一
和歌山県武術太極拳連盟会長	鶴保 庸介
和歌山県ベタンク協会会長	辻内 曙
社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟会長	谷本 忠信
和歌山県視覚障害者福祉協会会長	渡田 年男
一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会会長	福田美枝子
和歌山県肢体障害者協会会長	田中 秀樹
和歌山県障害児父母の会連合会会長	岩橋 秀樹
和歌山県知的障害者福祉協会会長	土井 邦夫
和歌山県障害児者施設家族会連合会会長	堀内 正次
和歌山県精神保健福祉協会会長	西本香代子
和歌山県精神保健福祉家族会連合会会長	上野 六宏
和歌山県障害者スポーツ指導者協議会会長	津村 優子
和歌山県障害者フライングディスク協会会長	谷本 忠信

顧問（6人）		
衆議院議員	二階 俊博	
衆議院議員	石田 真敏	
衆議院議員	岸本 周平	
衆議院議員	門 博文	
参議院議員	世耕 弘成	
参議院議員	鶴保 庸介	

参与(18人)	
和歌山県教育委員会委員	竹山 早穂
和歌山県教育委員会委員	佐藤 律子
和歌山県教育委員会委員	野田 弘晃
和歌山県教育委員会委員	野村 富や
和歌山県教育委員会委員	桑原 義登
朝日新聞和歌山総局長	中谷 和司
毎日新聞和歌山支局長	坂口 佳代
読売新聞和歌山支局長	正田 和也

専門委員会等委員名簿

総務専門委員会(15人)		(H27.6.1現在)
委員長	公益社団法人和歌山県体育協会副会長	山口 裕市
副委員長	和歌山県教育委員会生涯学習局長	楠 義隆
委員	和歌山県スポーツ推進委員協議会会長	筋師 光博
委員	和歌山県高等学校体育連盟会長	宮本 和幸
委員	和歌山県中学校体育連盟会長	宮本 昌昭
委員	和歌山県政策審議課長	細川 一也
委員	和歌山県総務部市町村課長	齋藤 修
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一
委員	和歌山県教育委員会総務課長	中川 敦之
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之
委員	和歌山県市長会事務局長	吉田 武弘
委員	和歌山県町村会事務局長	宇恵 元昭
委員	国立大学法人和歌山大学教授	藤永 博
委員	和歌山県商工会議所連合会企画・街づくり支援室長	山下 佳奈
委員	和歌山県商工会連合会事務局長	湯川 恭英

施設専門委員会(15人)		(H27.8.1現在)
委員長	公益社団法人和歌山県体育協会顧問	野見 典展
副委員長	和歌山県スポーツ推進審議会副会長	橋爪 静夫
委員	和歌山県高等学校長会会長	高垣 正儀
委員	和歌山県中学校長会会長	藤本 禎男
委員	和歌山県私立中等高等学校協会会長	藤田 清司
委員	和歌山県総務部市町村課長	齋藤 修
委員	和歌山県企画部総合交通政策課長	鈴木 孝志
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一
委員	和歌山県県土整備部都市政策課長	飯沼 宏規
委員	和歌山県教育委員会総務課長	中川 敦之
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之
委員	和歌山県市長会事務局長	吉田 武弘
委員	和歌山県町村会事務局長	宇恵 元昭
委員	国立大学法人和歌山大学教授	足立 基浩
委員	一般財団法人和歌山社会経済研究所研究委員	谷 奈々

競技専門委員会(20人)		(H27.4.1現在)
委員長	公益社団法人和歌山県体育協会監事	伊藤 洋
副委員長	公益社団法人和歌山県体育協会副会長	南 正晃
委員	和歌山県水泳連盟理事長	榎本 任志
委員	和歌山県自転車競技連盟理事長	類家 信雄
委員	和歌山県バスケットボール協会理事長	中澤 亨

産経新聞和歌山支局長	木村 成宏
共同通信社和歌山支局長	日和 一正
時事通信社和歌山支局長	寺内 豊磨
日本経済新聞社和歌山支局長	土田 昌隆
日刊工業新聞社南大阪支局長	森野 学彦
紀伊民報編集局長	三井 晃
和歌山県地方新聞協会会長	日根 輝己
日本放送協会和歌山放送局長	眞貝 昌洋
株式会社和歌山放送代表取締役社長	中島 章雄
株式会社テレビ和歌山代表取締役社長	柏原 康文

委員	和歌山県ハンドボール協会理事長	田中 秀和
委員	和歌山県バレーボール協会理事長	上野 富治
委員	和歌山県ボクシング連盟理事長	宮本 昌昭
委員	和歌山県フencing協会副会長	市川 浩之
委員	和歌山県なぎなた連盟理事長	三浦利枝子
委員	和歌山県スポーツ推進委員協議会副会長	田林 由加
委員	和歌山県高等学校体育連盟理事長	山本 明広
委員	和歌山県中学校体育連盟理事長	太田英一郎
委員	和歌山県私立中等高等学校協会会長	藤田 清司
委員	国立大学法人和歌山大学教授	本山 貢
委員	和歌山信愛中学校・高等学校長	森田登志子
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之
委員	和歌山県県土整備委員会県立学校教育課長	池田 尚弘
委員	和歌山県教育委員会学校人事課長	笹井 晋吾
委員	和歌山県教育委員会健康体育課長	岩井 達之

広報・県民運動専門委員会(27人)		(H27.8.1現在)
委員長	国立大学法人和歌山大学長	瀧 寛和
副委員長	公益社団法人日本青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会会長	早稲田好則
委員	国立大学法人和歌山大学教授	北村 元成
委員	和歌山県農業協同組合中央会専務理事	山崎 龍平
委員	和歌山県森林組合連合会代表理事専務	谷関 俊男
委員	公益社団法人和歌山県観光連盟専務理事	山西 毅治
委員	社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会事務局長	北出 高史
委員	一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会事務局長	糸魚川隆司
委員	和歌山県婦人団体連絡協議会会長	根本 信子
委員	和歌山県商工会議所連合会常任幹事	野田 寛芳
委員	和歌山県商工会連合会専務理事	濃瀬 順一
委員	株式会社テレビ和歌山報道制作本部長	早坂 豊司
委員	株式会社和歌山放送報道制作局長	平井 理弘
委員	日本放送協会和歌山放送局放送部長	西宮 仁史
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事	川並久美子
委員	和歌山県連合小学校長会会長	中村 典弘
委員	和歌山県中学校長会会長	藤本 禎男
委員	和歌山県高等学校長会会長	高垣 正儀
委員	和歌山県特別支援学校長会会長	三反田和人
委員	和歌山県私立中等高等学校協会会長	藤田 清司
委員	和歌山県市長会事務局長	吉田 武弘
委員	和歌山県町村会事務局長	宇恵 元昭
委員	和歌山県広報課長	出津野孝昭
委員	和歌山県環境生活部県民生活課長	三浦 源吾
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一

委員	和歌山県教育委員会総務課長	中川 敦之
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之

輸送・交通専門委員会(26人)		(H27.8.1現在)
委員長	公益社団法人和歌山県バス協会専務理事	森下 清司
副委員長	西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社輸送課長	高地 明利
委員	南海電気鉄道株式会社鉄道営業本部運輸部営業課長	齋藤 俊也
委員	和歌山電鐵株式会社総務企画部長	麻生 剛史
委員	紀州鉄道株式会社御坊事業所副所長	岡地 重行
委員	西日本高速道路株式会社関西支社和歌山高速道路事務所管理課長	田中 剛史
委員	一般社団法人和歌山県タクシー協会専務理事	高瀬 秀彰
委員	一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会専務理事	西村 芳通
委員	南海フェリー株式会社社常務取締役管理部長	門田 光司
委員	日本航空株式会社関西西地区法人販売部担当部長	谷川 義徳
委員	国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局首席運輸企画専門官	平田 克也
委員	国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所副所長	藤本 昭彦
委員	国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所副所長	吉村 英二
委員	和歌山県警察本部交通部交通企画課長	坂部 義人
委員	和歌山県警察本部交通部交通規制課長	田村 正寿
委員	和歌山県警察本部警備部警衛対策課長	谷本 克也
委員	和歌山市総務局国体推進部国体競技課長	中村 文治
委員	和歌山県企画部総合交通政策課長	鈴木 孝志
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一
委員	和歌山県県土整備部県土整備総務課長	宮地 良治
委員	和歌山県県土整備部道路政策課長	庄司 勝
委員	和歌山県県土整備部道路保全課長	久田 昭文
委員	和歌山県県土整備部道路建設課長	野村 郁二
委員	和歌山県県土整備部都市政策課長	飯沼 宏規
委員	和歌山県県土整備部港湾空港課長	土井 安兒
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之

宿泊・衛生専門委員会(25人)		(H27.6.6現在)
委員長	和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	坂口 邦嗣
副委員長	一般社団法人和歌山県医師会理事	西岡 昭規
委員	一般社団法人和歌山県食品衛生協会会長	東山 泰清
委員	一般社団法人日本旅行業協会関西支部和歌山地区会会長	森口 浩紀
委員	協同組合和歌山県旅行業協会代表理事	小山 哲生
委員	公益社団法人和歌山県観光連盟副会長	林 泰行
委員	一般社団法人和歌山県歯科医師会事務局長	三島 良昭
委員	一般社団法人和歌山県薬剤師会副会長	白井 良和
委員	公益社団法人和歌山県看護協会会長	古川 紀子
委員	日本赤十字社和歌山支部事務局長	山本 明史
委員	公益社団法人和歌山県病院協会事務局長	岡室 寛造
委員	公益社団法人和歌山県栄養士会会長	畑中 一浩
委員	一般社団法人和歌山県調理師会会長	前田 洋三
委員	和歌山県保健所長会会長	松本 政信
委員	和歌山県外食産業協同組合理事長	伊東 満彦
委員	和歌山県環境生活部循環型社会推進課長	鳴神 賢
委員	和歌山県環境生活部食品・生活衛生課長	石井 和人
委員	和歌山県福祉保健部福祉保健総務課長	南出 明彦
委員	和歌山県福祉保健部福祉保健課長	中林 憲一
委員	和歌山県福祉保健部医療課長	鳥淵 博文
委員	和歌山県福祉保健部健康推進課長	中西 淳
委員	和歌山県福祉保健部薬務課長	福田 泰博

委員	和歌山県商工観光労働部観光振興課長	中島 寛和
委員	和歌山県農林水産部食品流通課長	谷中 一良
委員	和歌山県教育委員会スポーツ課長	志場 紀之

宿泊・衛生専門委員会 宿泊部会(8人)		(H26.4.1現在)
部会長	和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	坂口 邦嗣
副部会長	一般社団法人日本旅行業協会関西支部和歌山地区会会長	森口 浩紀
委員	協同組合和歌山県旅行業協会理事	板橋 豊勝
委員	公益社団法人和歌山県観光連盟事務局長	嶋 俊夫
委員	公益社団法人和歌山県体育協会事務局長	川口 勝也
委員	和歌山市総務公室国体推進部国体競技課長	中村 文治
委員	和歌山県環境生活部食品・生活衛生課課長補佐	永井 伸和
委員	和歌山県商工観光労働部観光振興課副課長	南 和之

宿泊・衛生専門委員会 医事・衛生部会(16人)		(H27.4.1現在)
部会長	一般社団法人和歌山県医師会理事	西岡 昭規
副部会長	一般社団法人和歌山県食品衛生協会専務理事	矢口 雅一
委員	一般社団法人和歌山県歯科医師会事務局次長	横貫 健
委員	一般社団法人和歌山県薬剤師会副会長	白井 良和
委員	日本赤十字社和歌山県支部事業推進課長	中村 喜一郎
委員	公益社団法人和歌山県看護協会理事	小泉 美穂
委員	公益社団法人和歌山県病院協会事務局長	岡室 寛造
委員	和歌山県保健所長会副会長	根賀 博子
委員	公益社団法人和歌山県体育協会事務局長	川口 勝也
委員	和歌山市保健所生活保健課長	辻村 光司
委員	和歌山県環境生活部循環型社会推進課副課長	浜野 幸男
委員	和歌山県環境生活部食品・生活衛生課課長補佐	村上 毅
委員	和歌山県福祉保健部福祉保健総務課副課長	芝 英司
委員	和歌山県福祉保健部医療課副課長	長尾 尚佳
委員	和歌山県福祉保健部健康推進課感染症対策課長	太田 公也
委員	和歌山県福祉保健部薬務課副課長	内原 節子

式典専門委員会(24人)		(H27.6.12現在)
委員長	日本大学名誉教授	早田 卓次
副委員長	和歌山県スポーツ推進審議会副会長	橋爪 静夫
委員	和歌山信愛女子短期大学名誉教授	室 みどり
委員	和歌山県連合小学校長会会長	中村 典弘
委員	和歌山県中学校長会会長	藤本 禎男
委員	和歌山県高等学校長会会長	高垣 正儀
委員	和歌山県特別支援学校長会会長	三反田和人
委員	和歌山県私立中等高等学校協会会長	藤田 清司
委員	日本放送協会和歌山放送局放送部長	西宮 仁史
委員	株式会社テレビ和歌山報道制作本部長	早坂 豊司
委員	株式会社和歌山放送報道制作局長	平井 理弘
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	和歌山県外食産業連盟理事長	森貞 昌春
委員	和歌山県合唱連盟理事長	沼丸 晴彦
委員	和歌山県文化財保護審議会会長	吉川 壽洋
委員	NPO紀州お祭りプロジェクト会長	西平都紀子
委員	和歌山県都市教育保健協議会会長	原 一起
委員	和歌山県町村教育長会会長	橋戸 常年
委員	和歌山市総務局長	川端 康紀
委員	和歌山県警察音楽隊長	富取 静夫

委員	和歌山県警察本部警備部警衛対策課長	谷本 克也
委員	和歌山県教育委員会生涯学習局長	楠 義隆
委員	和歌山県教育委員会学校教育局長	田村 光穂
委員	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局長	山田 成紀

式典運営部会(9人) (H27.6.12現在)		
部会長	和歌山県スポーツ推進審議会副会長	橋爪 静夫
副部会長	公益社団法人和歌山県体育協会事務局長	川口 勝也
委員	和歌山信愛女子短期大学名誉教授	室 みどり
委員	和歌山県高等学校文化連盟事務局長	湯浅 誠康
委員	日本放送協会和歌山放送局放送部長	西宮 仁史
委員	和歌山市総務局国体推進部長	吉増 健
委員	和歌山県警察本部警備部警衛対策課長	谷本 克也
委員	和歌山県警察音楽隊長	富取 静夫
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一

式典音楽部会(5人) (H26.12.19現在)		
部会長	和歌山県警察音楽隊長	富取 静夫
副部会長	和歌山県高等学校教育研究会音楽部会理事長	森貞 昌春
委員	和歌山県音楽教育連盟理事長	山本 茂子
委員	和歌山県吹奏楽連盟事務局長	阪口 博紀
委員	和歌山県合唱連盟事務局長	阪本 健悟

式典演技部会(7人) (H27.4.10現在)		
部会長	和歌山信愛女子短期大学名誉教授	室 みどり
副部会長	日本バトン協会関西支部理事	嶋 啓子
委員	スタジオちむのOne代講師	星沙 紀帆
委員	和歌山県高等学校文化連盟演劇部会代表理事	中村 正道
委員	NPO紀州お祭りプロジェクト事務局長	上森 成人
委員	和歌山県教育委員会文化遺産課副主査	蘇理 剛志
委員	和歌山県特別支援学校校長会会長	三反田和人

警備・消防専門委員会(10人) (H27.8.1現在)		
委員長	和歌山県危機管理局長	藤川 崇
副委員長	和歌山県警察本部警備部警衛対策課長	谷本 克也
委員	和歌山県消防長会救急部会部会長	井本 博隆
委員	和歌山県警察本部生活安全全部地域指導課長	久保 正仁
委員	紀の国はまゆう紀三井寺公園管理事務所長	中 公之
委員	和歌山市総務局国体推進部国体競技課長	中村 文治
委員	和歌山県総務部防災企画課長	高瀬 彰彦
委員	和歌山県総務部危機管理・消防課長	横山 達伸
委員	和歌山県県土整備部都市政策課長	飯沼 宏規
委員	和歌山県福祉保健部障害福祉課長	中林 憲一

全国障害者スポーツ大会専門委員会(32人) (H27.4.1現在)		
委員長	社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟会長 和歌山県障害者スポーツ協会副会長	谷本 忠信
副委員長	和歌山県福祉保健部長	幸前 裕之
委員	和歌山県視覚障害者福祉協会会長	渡田 年男
委員	一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会会長	福田美枝子
委員	和歌山県肢体障害者協会会長	田中 秀樹

委員	社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会副会長・常務理事	中岡 雅和
委員	和歌山県障害児者父母の会連合会会長	岩橋 秀樹
委員	和歌山県知的障害者福祉協会会長	土井 邦夫
委員	和歌山県障害児者施設家族会連合会会長	堀内 正次
委員	和歌山県精神保健福祉協会会長	西本香代子
委員	和歌山県精神保健福祉家族会連合会会長	上野 六宏
委員	和歌山県障害者スポーツ指導者協議会会長	津村 優子
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	一般財団法人和歌山陸上競技協会専務理事	南 正晃
委員	和歌山県水泳連盟理事長	榎本 任志
委員	一般社団法人和歌山県サッカー協会専務理事	岡中 純男
委員	和歌山県バレーボール協会理事長	上野 富治
委員	和歌山県バスケットボール協会理事長	中澤 亨
委員	和歌山県卓球協会副会長	那須 純一
委員	和歌山県ソフトボール協会理事長	森下 敏彦
委員	和歌山県アーチェリー協会理事長	和田 好史
委員	和歌山県ボウリング連盟会長	西田 一善
委員	和歌山県障害者フライングディスク協会会長	谷本 忠信
委員	和歌山県教育委員会生涯学習局長	楠 義隆
委員	和歌山県特別支援学校長会会長	三反田和人
委員	和歌山市総務局国体推進部長	吉増 健
委員	海南市総務部国体推進室長	尾崎 正幸
委員	田辺市教育委員会国体推進室長	川合 良平
委員	紀の川市国体対策局国体対策課長	釜坂 佳典
委員	岩出市市長公室長・国体推進室長	湯川 佳彦
委員	日高川町企画政策課国体推進室長	寒川 正人
委員	上富田町住民生活課長	原 宗明

水泳(飛込・シンクロ)競技会運営委員会(13人) (H27.4.1現在)		
委員長	和歌山県水泳連盟理事長	榎本 任志
副委員長	一般財団法人大阪水泳協会専務理事	泉 和善
委員	門真市スポーツ推進委員協議会会長	岡鼻 正光
委員	特定非営利活動法人門真はすくクラブ(総合型地域スポーツクラブ)理事長	高須賀 務
委員	門真市体育協会会長	宮本 一孝
委員	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課長	植山 勝秀
委員	公益財団法人大阪体育協会専務理事	植山 勝秀
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	一般社団法人門真市医師会理事	西口 和輝
委員	守口門真商工会議所会頭	平井 治
委員	大阪府門真警察署警備課長	秋山 章三
委員	門真市教育委員会事務局生涯学習部スポーツ振興課長	丹路 保浩
委員	門真消防署副署長	山蔭 明

ボート競技会運営委員会(21人) (H27.5.25現在)		
委員長	和歌山県ボート協会会長	泉 充治
副委員長	滋賀県ボート協会会長	奥村 功
委員	関西ボート連盟理事長	松本 健次
委員	公益財団法人滋賀県体育協会常務理事	勝見 直樹
委員	大津市体育協会会長	金子 良治
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	滋賀県ボート協会理事長	山中 貴幸
委員	和歌山県ボート協会理事長	門 梯次
委員	公益財団法人滋賀県体育協会滋賀県立琵琶湖漕艇場場長	山根 正登
委員	大津市瀬田学区自治連合会会長	内田 一豊

委員	瀬田町漁業協同組合組合長理事	吉田 守
委員	公益社団法人大津市医師会会長	吉徳 克仁
委員	大津商工会議所専務理事	村田 省三
委員	瀬田商工会事務局長	西川 聡
委員	公益社団法人びわ湖大津観光協会事務局長	田中 眞一
委員	滋賀県警察本部警備部警備第二課実施担当課長補佐	川崎 勝博
委員	滋賀県大津警察署警備課長	竹本 雅明
委員	大津市市民部市民スポーツ・国体推進課長	川瀬 睦
委員	大津市都市計画部公園緑地課長	奥村 芳行
委員	大津市保健所衛生課長	井上 敏
委員	大津市消防局警防課長	堀 広哉

馬術競技会運営委員会(17人) (H27.4.1現在)		
委員長	和歌山県馬術連盟会長	檉畑 直尚
副委員長	公益財団法人兵庫県馬術連盟理事長	山崎由紀子
委員	公益財団法人兵庫県体育協会専務理事	濱田 浩嗣
委員	三木市体育協会副会長	中嶋 将雄
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	公益財団法人三木山人と馬とのふれあいの森協会理事長	増田 純一
委員	三木商工会議所会頭	宮永 淳
委員	三木市区長協議会連合会会長	小山内政子
委員	三木市老人クラブ連合会会長	西垣 秀美
委員	社会福祉法人三木市社会福祉協議会会長	和泉 藤枝
委員	兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所食食品安全専門官	岡本 典子
委員	兵庫県三木警察署長	中村 哲也
委員	三木市豊かなくらし部長	椎木 栄作
委員	三木市教育委員会教育企画部長	永尾 勝彦
委員	三木市消防本部消防長	森本 英樹
委員	公益社団法人和歌山県医師会会長	玉井 公宏
委員	和歌山県農林水産部畜産課長	小西 英邦

馬事衛生部会(8人) (H27.4.1現在)		
部会長	和歌山県農林水産部畜産課長	小西 英邦
副部会長	兵庫県農政環境部農林水産局畜産課畜安全官	荒木 亮二
委員	一般社団法人兵庫県獣医師会理事	本田 義貴
委員	公益社団法人和歌山県獣医師会専務理事	阪本 康敬
委員	公益財団法人兵庫県馬術連盟理事長	山崎由紀子
委員	和歌山県馬術連盟理事長	平原 一樹
委員	姫路家畜保健衛生所長	荻野 雅男
委員	紀北家畜保健衛生所長	中本 和弘

クレール射撃競技会運営委員会(20人) (H27.7.31現在)		
委員長	和歌山県クレール射撃協会会長	井出 益弘
副委員長	一般社団法人神奈川県クレール射撃協会会長	矢部 重信
委員	公益財団法人神奈川県体育協会事務局長	柳形 芳彦
委員	伊勢原市体育協会会長	田中 昇
委員	公益社団法人和歌山県体育協会理事長	志場 紀之
委員	一般社団法人神奈川県射撃協会理事・事務局長	葛谷 寛一
委員	伊勢原市自治会連合会会長	飯田 博
委員	高部屋地区自治会副代表	青柳 貞夫
委員	伊勢原市医師会会長	須藤 宣弘
委員	伊勢原市商工会事務局次長	宮川 薫
委員	一般社団法人伊勢原市観光協会事務局長	鍛冶 栄一

委員	伊勢原市老人クラブ連合会会長	森 保
委員	伊勢原市地域帰入団体連絡協議会会長	山田 恵巳
委員	社会福祉法人伊勢原市社会福祉協議会会長	宮川 進
委員	神奈川県教育委員会教育局生涯学習部スポーツ課長	浦邊 哲
委員	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター所長	永井 雅子
委員	神奈川県伊勢原警察署警備課長	和田 英次
委員	伊勢原市教育委員会教育部スポーツ課長	目黒 明
委員	伊勢原市経済環境部商工観光振興課参事兼課長	安藤 隆幸
委員	伊勢原市消防本部消防署長	石田 博道

募金・企業協賛推進委員会名簿(31人) (H27.6.24現在)		
会長	和歌山県商工会議所連合会会長	片山 博臣
副会長	和歌山県商工会連合会会長	森田 敏行
副会長	和歌山県中小企業団体中央会会長	妙中 清剛
副会長	和歌山県経営者協会会長	竹田 純久
副会長	一般社団法人和歌山経済同友会代表幹事	大桑 増嗣
副会長	一般社団法人和歌山銀行協会会長	松岡 靖之
副会長	和歌山県農業協同組合中央会会長	中家 徹
副会長	一般社団法人和歌山県医師会会長	寺下 浩彰
副会長	和歌山県県入団体連絡協議会会長	堰本 信子
副会長	公益社団法人和歌山県体育協会副会長	山口 裕市
委員	和歌山県信用金庫協会会長	香山 正人
委員	和歌山県森林組合連合会代表理事会長	美野 勝男
委員	和歌山県漁業協同組合連合会代表理事会長	木下 吉雄
委員	一般社団法人和歌山県建設業協会会長	中井 賢次
委員	公益社団法人和歌山県バス協会会長	井上 慎治
委員	一般社団法人和歌山県タクシー協会会長	川村 昌彦
委員	一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会会長	田畑 孝芳
委員	協同組合和歌山県旅行業協会代表理事	小山 哲生
委員	和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	坂口 邦嗣
委員	公益社団法人和歌山県観光連盟副会長	林 泰行
委員	一般社団法人和歌山県歯科医師会会長	中谷 譲二
委員	一般社団法人和歌山県薬剤師会会長	稲葉 真也
委員	公益社団法人和歌山県病院協会会長	成川 守彦
委員	社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会副会長	松下 明
委員	公益社団法人日本青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会長	早稲田好則
委員	一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会会長	遠藤 吉貞
委員	和歌山県ボランティア連絡協議会会長	北出賀江子
委員	和歌山県障害者スポーツ協会副会長	土井 邦夫
委員	和歌山県市長会会長	田岡夷千年
委員	和歌山県町村会会長	小出 隆道
委員	和歌山県会計管理者	岩橋 良晃

東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」 第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」 報告書	
発 行	平成28年3月 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会
制 作	株式会社 テレビ和歌山

無断複製、転載を禁じます。